

Windows 版

MOT /Phone

ユーザーマニュアル

操作・設定ガイド

5. 5 版

株式会社バルテック

本書には本装置を正しくご利用いただく為の、接続・設置方法、注意・警告事項が記載されている為、お使いになる前に必ずお読みになり、方法や注意事項を十分ご理解いただいた上でご利用ください。本書は紛失しないように、大切に保管してください。

- ◆ 本書および本製品の一部または全部を無断で転載、複製、改変することはできません。
- ◆ 本書および本製品の内容は、改変・改良・その他の都合により予告無く変更することがあります。
- ◆ 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断・記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 接続機器との組み合わせによる誤動作から生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

■目次

1.はじめに（各種ボタンの概要説明）	4
1-1. MOT/Phone 概要	4
1-2. USB Phone 概要	5
1-2-1. [HCU-205HT（白） / HCU-205HT-r2-BK（黒）]概要	5
1-2-2. [Calisto P240]概要	6
1-2-3. USBハンドセット [NYC-USB-HS]概要	7
1-3. 構成ウィンドウ	9
2.アプリのインストール	10
2-1. インストーラの起動と必要ファイルをインストールする	10
■ インストーラの起動	10
■ 必須コンポーネントのインストール	11
■ 必須コンポーネントが正常にインストールできなかった場合	14
2-2. MOT/Phone 本体をインストールする	18
2-3. MOT/Phone 利用時の推奨設定	20
2-3-1.ファイアウォールの設定を変更する	20
2-3-2. Windows のデータ実行防止を設定する	23
2-3-3.サウンドの設定を変更する	26
3.初期設定	28
3-1. 初期設定	28
■ 設定画面	28
■ サウンド設定	29
3-2. 設定画面の各項目説明	31
■ 「アカウント設定」タブ	31
■ 「アプリケーション設定」タブ	33
■ 「外線表示設定」タブ	37
4.操作方法	38
4-1. 起動と終了	38
■ 初回起動	38
■ 終了と最小化	38
4-2. 発信から切断	39
4-3. 着信から保留、転送	40
4-4. パーク保留	43
5.各種機能の設定方法	44
5-1. 電話番号情報を設定する	44
5-2. パーク保留機能を設定する	45
5-3. アカウントを複数設定する・切り替える	46
5-4. 利用するポート番号を設定する	47

5-5.	接続先 (PBX) の設定を行う	48
5-5-1.	サーバ手動設定 (POPUP 連動なし)	48
5-5-2.	サーバ手動設定 (POPUP 連動あり)	49
5-5-3.	MOT/TEL 設定 (POPUP 連動あり)	51
5-6.	発信/着信優先設定を行う	53
5-7.	通話切断音の時間を変更する	54
5-8.	着信時にディスプレイの最前面に表示する	55
5-9.	アプリの自動アップデートを有効にする	56
5-10.	アプリの外観を変更する	57
5-11.	音声デバイス (USBPhone や PC スピーカー) 設定を変更する	58
5-12.	内線/外線着信時の鳴動音を変更する	59
5-13.	パソコン本体から流れる着信鳴動音を変える	60
5-14.	外線パッドの設定を行う	61
5-14-1.	外線着信時に、外線パッドを自動的に表示する	62
5-14-2.	起動時の外線パッドの開閉状態を設定する	63
5-14-3.	外線パッドに「ラインボタン」の割り付けを行う	64
5-14-4.	外線パッドに「留守番電話機能」の割り付けを行う	67
5-14-5.	外線パッドに「ワンタッチダイヤル」ボタンの割り付けを行う	71
5-14-6.	外線パッドに「着信拒否」ボタンの割り付けを行う	73
5-15.	USBPhone の電源が切れる場合、Windows の電源オプションで設定する	75
6.	仕様	78
■	ソフトフォン動作環境	78
■	提供機能	78
■	USBPhone [Calisto P240]仕様	79
■	USBPhone [HCU-205HT/ HCU-205HT-r2-BK]仕様	79
■	USB ハンドセット [NYC-USB-HS]仕様	80

1.はじめに（各種ボタンの概要説明）

1-1. MOT/Phone 概要

MOT/Phone は、ポップアップクライアント、MOT/PBX と連携して利用する専用ソフトフォンです。PC 内に本ソフトをインストールする事で MOT/PBX の内線端末として利用する事が出来ます。本説明書は、MOT/Phone の機能と操作方法につきまして説明します。

◆MOT/Phone ウィンドウの説明

①サーバ登録状態
②ステータス表示
⑤パーク保留ボタン
③ダイヤル番号入力欄
④発信切断ボタン
⑥保留ボタン
⑨マイク音量調整
⑫ダイヤルパッド 開閉ボタン
⑬ダイヤルパッド
⑭ダイヤルパッド閉じるボタン
⑰お知らせボタン
⑮バージョン表示ボタン
⑯外線パッド開閉ボタン
⑰外線パッド
⑦転送ボタン
⑧設定ボタン
⑩スピーカー音量調整

◆ボタン説明

④発信切断ボタン
📞 : ダイヤル待ち 📞 : 発信待ち 📞 : 切断待ち

⑥保留ボタン
📞 : 保留なし 📞 : 保留中 📞 : 保留待ち 📞 : 転送待ち

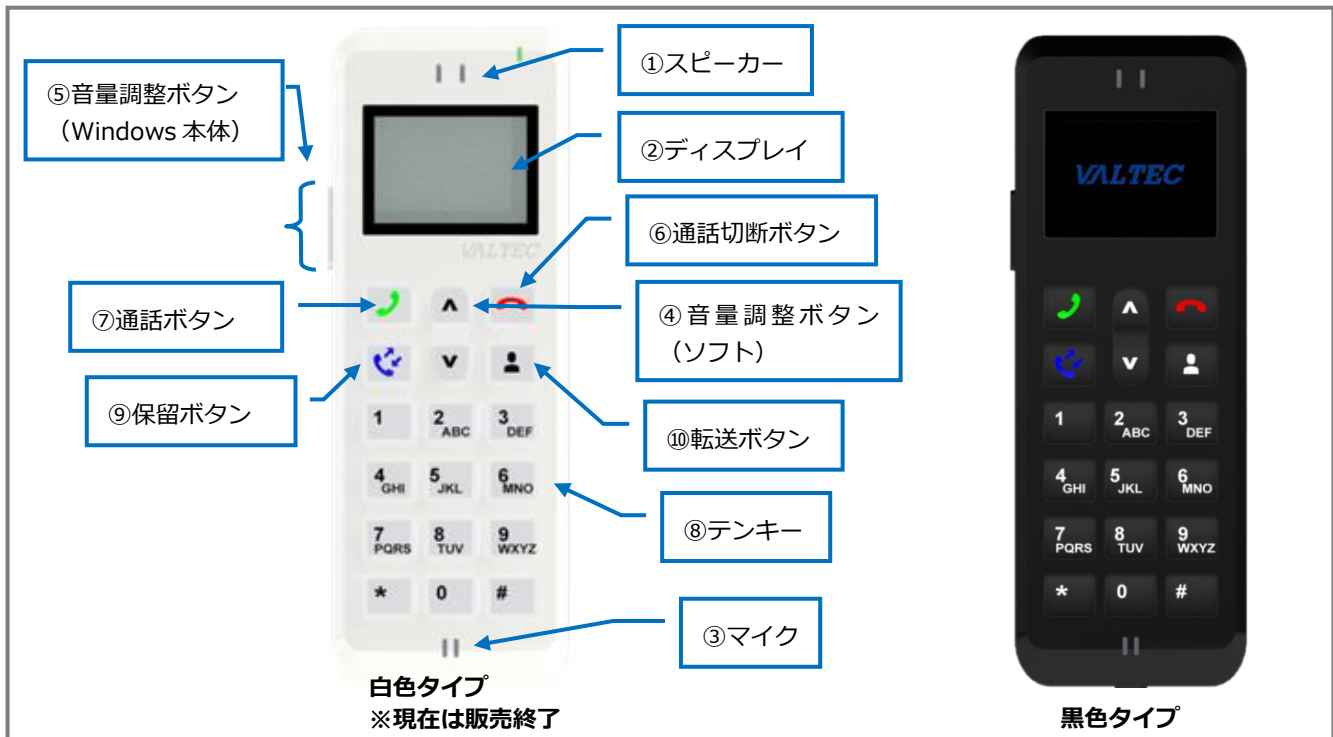
⑦転送ボタン

⑤パーク保留ボタン
📞 : 空きボタン 📞 : パーク保留中

※表示イメージ等、本書の内容は事前の告知なく変更される場合がございます事、ご了承願います。

1-2. USB Phone 概要

1-2-1. [HCU-205HT (白) / HCU-205HT-r2-BK (黒)] 概要



項目	機能説明
① スピーカー	相手の音が聞こえます。
② ディスプレイ	<ul style="list-style-type: none"> ・「年月日時刻曜日」が表示されます。 ・着信時には相手番号が表示されます。 ※黒色タイプは、ディスプレイはありません。
③ マイク	音声を拾います。
④ 音量調整ボタン (ソフト)	ボタン操作することで鳴動音、及び受話音量を変更します。
⑤ 音量調整ボタン (Window 本体)	ボタン操作することで受話音量を変更します。 ※音量は Windows PC 本体デバイスの音量を調整します。
⑥ 通話切断ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・通話中に押す事で通話を切断します。 ・ダイヤル中に押下する事で番号を1文字消去出来ます。
⑦ 通話ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・テンキーでダイヤルした後、押す事で発信します。 ・着信中に押す事で着信できます。
⑧ テンキー	1～0、*、#ボタン ・通話中に押下するとプッシュ信号を送出します。
⑨ 保留ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・通話中に押下することで、自己保留することができます。 ・保留中に押下すると保留解除し通話中に戻ることが出来ます。
⑩ 転送ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・⑨の保留ボタンを押下後に、転送先番号を入力し、転送ボタンを押下することで保留呼を転送先に転送することができます。 ・通話中に転送ボタン+テンキー(1から6)を押下することで、パーク保留を行うことができます。また、待機中に同操作を行うことでパーク保留呼を捕捉し通話することができます。 ※パーク保留呼操作は PBX の設定が必須になります。

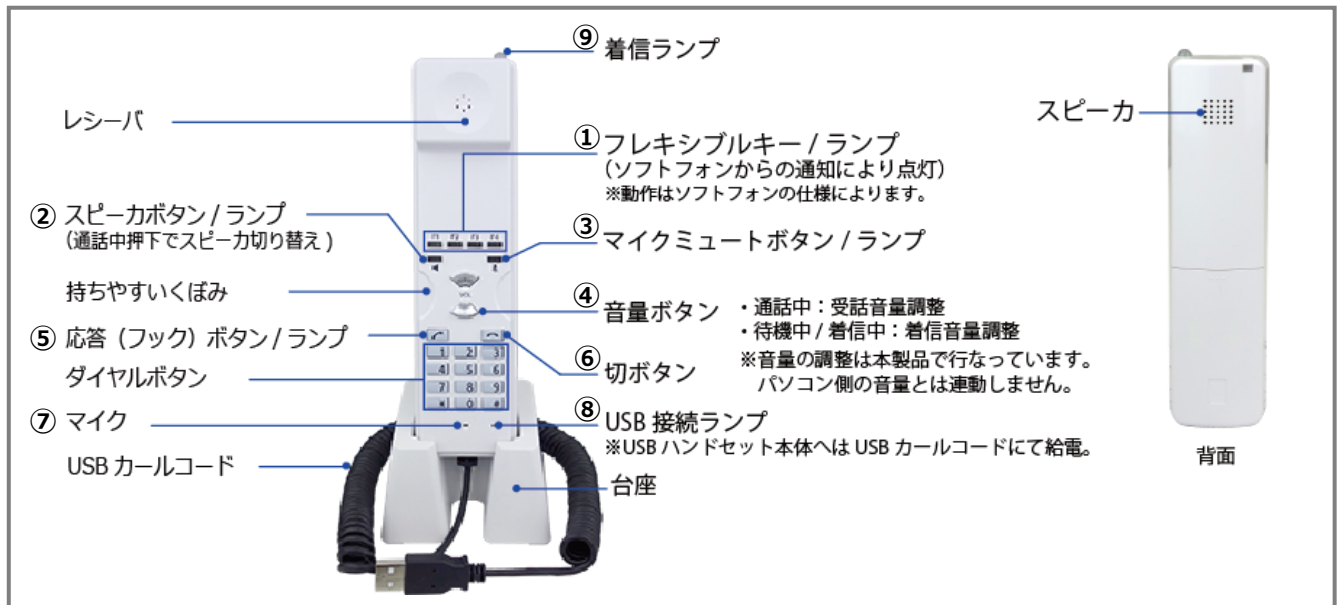
1-2-2. [Calisto P240]概要



項目	機能説明
① スピーカー	相手の音が聞こえます。
② ディスプレイ	<ul style="list-style-type: none"> ・「年月日時刻曜日」が表示されます。 ・着信時には相手番号が表示されます。
③ マイク	音声を拾います。
④ 音量調整ボタン	通話中にボタン操作することで受話音量を変更します。 ※音量は Windows OS 側の音量を調整します。
⑤ ミュートボタン バックスペース	<ul style="list-style-type: none"> ・こちら側の音を相手に聞こえなくします。(マイクミュート) ・ダイヤル中に押下する事で番号を1文字消去出来ます。
⑥ 通話切断ボタン	通話中に押す事で通話を切断します。
⑦ 通話ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・テンキーでダイヤルした後、押す事で発信します。 ・通話中に押す事で保留の ON/OFF ができます。
⑧ テンキー	1～0、*、# ボタン ・通話中に押下するとブッシュ信号を送出します。
⑨ メニュー	保留(通話中)、発信履歴(通話時以外)、ハンドセット音量調整、ハンズフリー音量調整、鳴動音音量調整、鳴動音 ON/OFF、言語設定(日本語は未対応)
⑩ ハンズフリーボタン	着信中に押す事によりスピーカー状態で応答することが出来ます。通話中にハンズフリー、通常通話の切替えも行なう事ができます。 ※ハンズフリーでの集音可能範囲は半径 1.2M 以内です。

1-2-3. USB ハンドセット [NYC-USB-HS]概要

※Windows10 のみ対応です。



項目	機能説明
① フレキシブルキー	<p>F1 : [F1] を押下すると、外線パッド「01」に登録している機能が動作します。 F2 : [F2] を押下すると、外線パッド「02」に登録している機能が動作します。 ※外線パッド「01」「02」に登録できる機能は、「ラインボタン」か「ワンタッチ」です。詳細は各設定ページをご参照ください。 例) 外線パッド「01」に「ラインボタン」を登録している場合は、[F1] を押下して発信すると、相手に [F1] に登録した番号を発番します。</p> <p>F3 : パーク保留ボタンです。 通話中に [F3] を押下後、保留するパーク番号「1」～「6」をダイヤルボタンで押すことで通話をパーク保留することができます。 パーク保留をとる場合も同様に、[F3] を押下後、保留しているパーク番号「1」～「6」をダイヤルボタンで押すことで、通話することができます。 詳細は「パーク保留」ページの「USB ハンドセットからの操作」をご参照ください。</p> <p>F4 : 自己保留ボタンです。 通話中に [F4] を押下すると、通話を保留することができます。 保留中に [F4] を押下すると、通話中に戻ります。 詳細は「着信から保留、転送」ページの「USB ハンドセットからの操作」をご参照ください。</p>
② スピーカーボタン	<p>発信中や通話中に押下すると、スピーカーボタンのランプが点灯し、スピーカー受話状態になります。※スピーカー利用時、マイクはミュートになります。</p>
③ ミュートボタン	<p>通話中に押下すると、ミュートボタンのランプが点灯し、ミュートになります。</p>
④ 音量ボタン	<p>通話中に操作すると受話音量を 4 段階 (特大・大・中・小) で調整し、待機中や着信中に操作すると着信音量を 3 段階 (大・中・小) で調整、または OFF にします。OFF は、音量が小の時に▽を長押しします。 ※USB ハンドセット (NYC-USB-HS) をご利用の場合は、USB ハンドセット端末の鳴動音を利用する使い方となり、MOT/Phone アプリの鳴動音はご利用いただけませんので、アプリ鳴動音を利用しないための以下の設定を行ってください。</p>

	<p>■ 設定 > アプリケーション設定 > 「呼出音出力設定」項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PC のスピーカーを利用 : 「鳴動させない」を選択 ・ 標準 USBPhone を利用 : 「鳴動させない」を選択 <p>上記が未設定の場合、端末背面のスピーカーから鳴動音が鳴ると同時に、レシーバから MOT/Phone アプリの鳴動音も鳴り、鳴動音が二重で鳴ります。</p>
⑤ 応答ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダイヤルボタンで発信先の番号を入力した後で押下すると、発信します。 ・ 着信中に押下すると、応答します。通話中はランプが点灯します。
⑥ 切ボタン	<p>通話中に押下すると通話を切断、発信中に発信を中断します。</p> <p>※着信中に押下しても、動作しません（着信拒否はできません）。</p>
⑦ ダイヤルボタン	1～0、*、#ボタンです。通話中に押下するとプッシュ信号を送出します。
⑧ USB 接続ランプ	パソコンの USB ポートにコネクタを接続すると赤く点灯します。
⑨ 着信ランプ	着信時に点滅します。

1-3. 構成ウィンドウ

MOT/Phone POP-UP は以下のウィンドウで構成されます。

着信ポップアップは、Windows 版 MOT/Phone と連携し以下の機能を提供します。

1. 着信時ポップアップ表示 もしくは、通話応答時ポップアップ表示
2. 電話帳/通話履歴表示
3. 前回通話内線表示
4. 電話受付ボタン押下による CTI 連動（ポップアップを非表示にして外部ウィンドウ表示も可能）



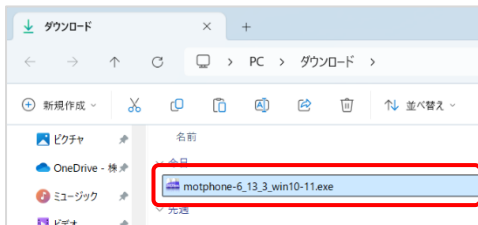
	説明
MOT/Phone	本紙で説明するソフトフォン
MOT/Phone POP-UP	MOT/Phone と連携して動作する着信ポップアップウィンドウ

MOT/Phone POP-UP についての詳細は別紙「MOT_POPUP_setup_manual」をご参照ください。

2. アプリのインストール

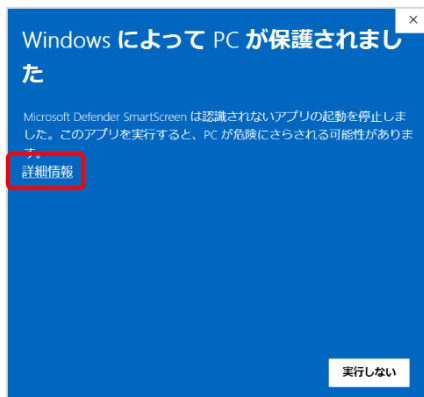
2-1. インストーラの起動と必要ファイルをインストールする

■ インストーラの起動

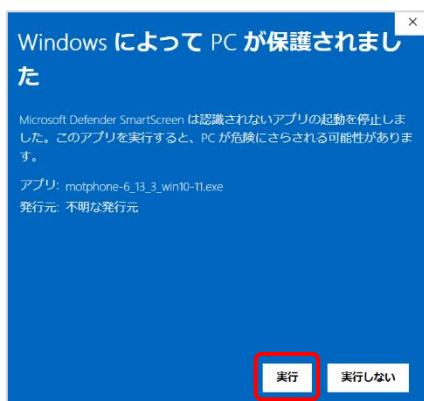


1. MOT/Phone 用のインストーラ exe を入手しパソコン上に置きます。
2. インストーラをダブルクリックすると、MOT/Phone セットアップウィザードが表示されます。

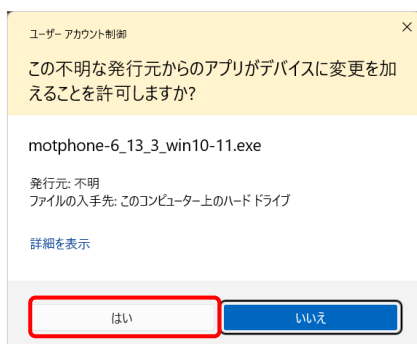
※以下の画面が表示された場合は、手順に従って進んでください。



1. 「詳細情報」をクリックします。



2. [実行] をクリックします。



3. [はい] をクリックします。

MOT/Phone 本体インストール前に、必要コンポーネントがインストールされていない場合、インストールを促すメッセージが表示されます。

メッセージに従って、インストールをお願いいたします。

すでにインストールされている場合はインストールを行う必要はありません。

「MOT/Phone 本体のインストール」ページに進んでください。

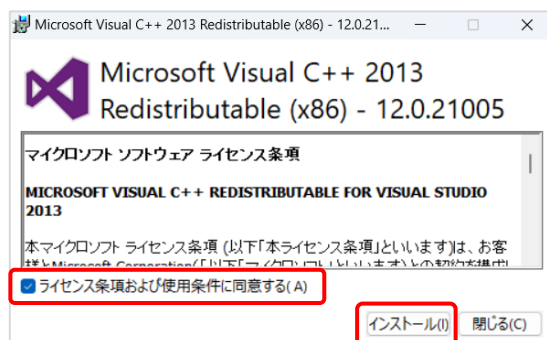
■ 必須コンポーネントのインストール

<Visual Studio Visual C++ 2013>

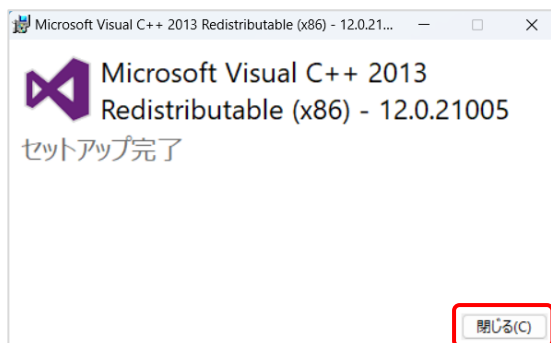
- (1) 必要コンポーネント「Visual Studio Visual C++ 2013」のインストールを促す以下のようなメッセージが表示された場合、[OK] をクリック後、メッセージに従ってインストールを行ってください。



- (2) 「ライセンス」にチェックを入れて、[インストール] をクリックします。



- (3) 「Visual Studio Visual C++ 2013」のインストールが完了です。
[閉じる] をクリックし、画面を閉じてください。



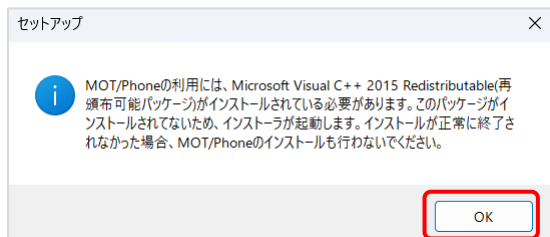
インストールが正常に完了しなかった場合、MOT/Phone は正常に起動できないため、インストールは行わないでください。

その場合、次項の手順「[必要コンポーネントが正常にインストールできなかった場合](#)」をご参照のうえ、アンインストールを実施してください。

次に必要なコンポーネントのインストールが必要な場合、同様にインストールを促すメッセージが表示されます。

<Visual Studio Visual C++ 2015-2022>

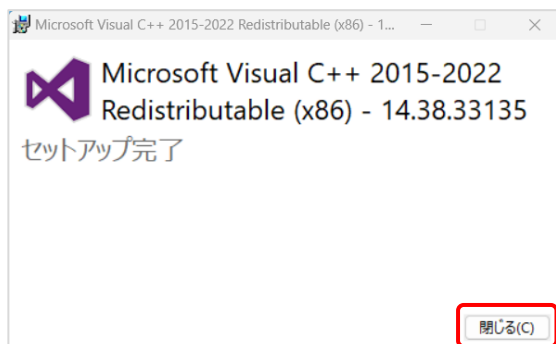
- (1) 必要コンポーネント「Visual Studio Visual C++ 2015-2022」のインストールを促す以下のようなメッセージが表示された場合、[OK] をクリック後、メッセージに従ってインストールを行ってください。



- (2) 「ライセンス」にチェックを入れて、[インストール] をクリックします。



- (3) 「Visual Studio Visual C++ 2015-2022」のインストールが完了です。
[閉じる] をクリックし、画面を閉じてください。

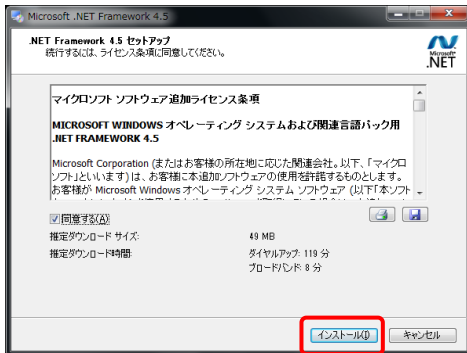


インストールが正常に完了しなかった場合、MOT/Phone は正常に起動できないため、インストールは行わないでください。
その場合、次項の手順「[必要コンポーネントが正常にインストールできなかった場合](#)」をご参照のうえ、アンインストールを実施してください。

<Microsoft .NET Framework 4.5>

(1) Microsoft .NET Framework 4.5 のインストール

(注意) Microsoft .NET Framework 4.5 が標準でインストールされている場合、インストールは不要です。



インストールが正常に完了しなかった場合、MOT/Phone は正常に起動できないため、インストールは行わないでください。

その場合、次項の手順「[必要コンポーネントが正常にインストールできなかった場合](#)」をご参照のうえ、アンインストールを実施してください。

■ 必須コンポーネントが正常にインストールできなかった場合

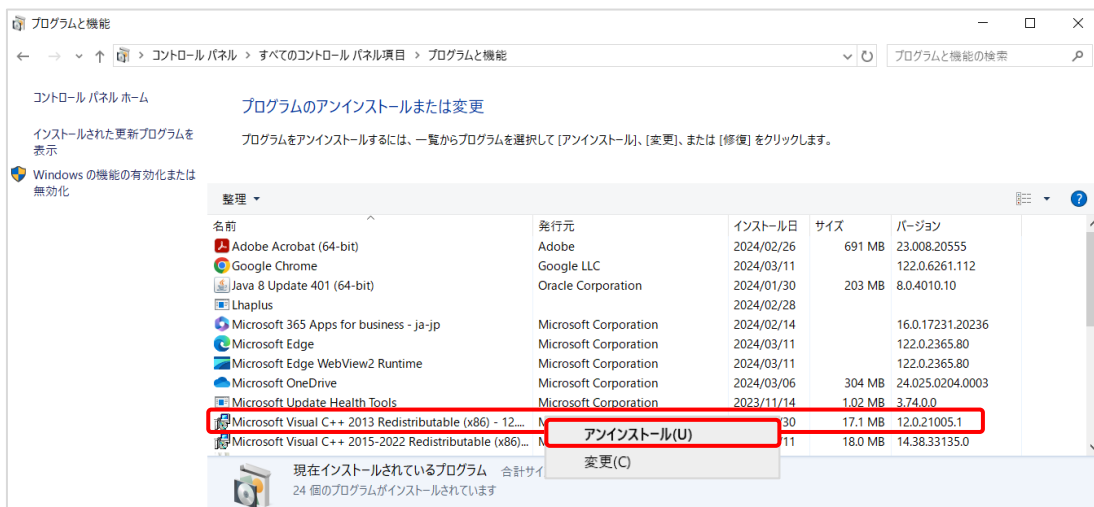
<Visual Studio Visual C++ 2013 のアンインストール>

正常にインストールが行われなかった場合は、以下手順で一度アンインストールを実施し、再度インストールを行ってください。

- ① 「コントロールパネル」を開きます。
- ② 「プログラムのアンインストール」を開きます。



- ③ 一覧に「Microsoft Visual C++ 2013 Redistributable (x86)」がある場合は右クリックし、「アンインストール」を選択します。



アンインストールを実行します。

<Visual Studio Visual C++ 2015-2022 のアンインストール>

正常にインストールが行われなかった場合は、以下手順で一度アンインストールを実施し、再度インストールを行ってください。

- ① 「コントロールパネル」を開きます。
- ② 「プログラムのアンインストール」を開きます。



- ③ 一覧に「Microsoft Visual C++ 2015-2022 Redistributable (x86)」がある場合は右クリックし、「アンインストール」を選択します。



アンインストールを実行します。

<Microsoft .NET Framework 4.5 のアンインストール>

(1) Microsoft .NET Framework 4.5 のアンインストール

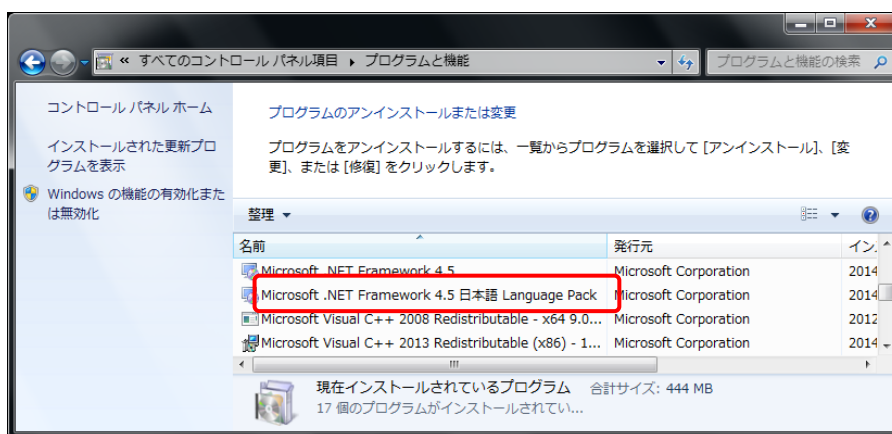
正常にインストールが行われなかった場合は、以下手順で一度アンインストールを実施し、再度インストールを行ってください。

この手順は、MOT/Phone のインストーラを起動した後に、Microsoft .NET Framework 4.5 のインストーラが起動されインストールが正常に完了しなかった場合に実行してください。

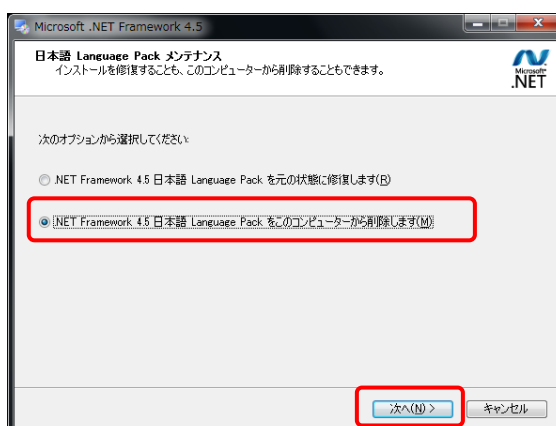
- ① 「コントロールパネル」を開きます。
- ② 「プログラムのアンインストール」を開きます。



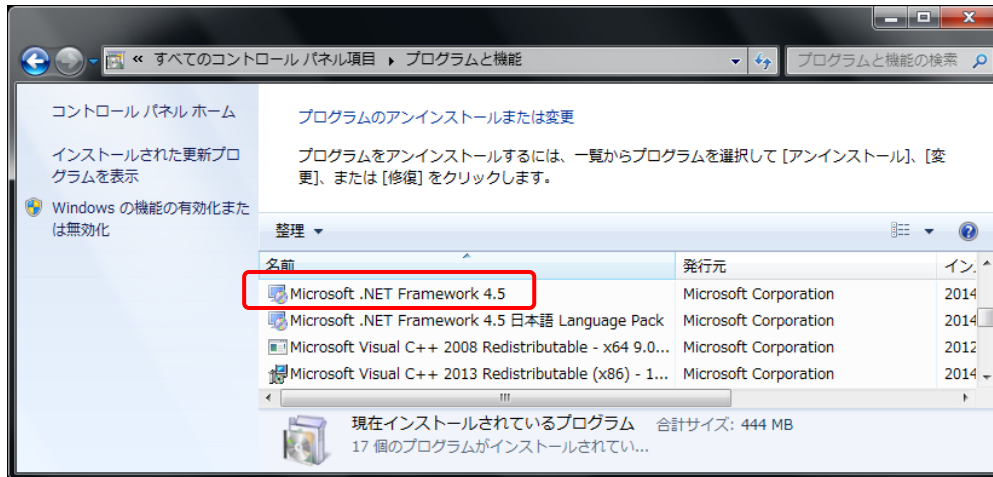
- ③ 一覧に「Microsoft .NET Framework 4.5 日本語 Language Pack」がある場合は右クリックし、「アンインストールと変更」を選択します。



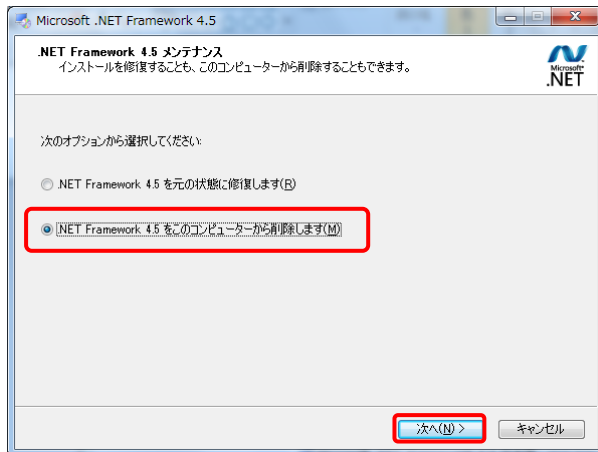
- ④ 「.NET Framework 4.5 日本語 Language Pack をこのコンピュータから削除します」を選択し、「次へ」を選択します。



- ⑤ 一覧に「Microsoft .NET Framework 4.5」がある場合は右クリックし、「アンインストールと変更」を選択します。



- ⑥ 「.NET Framework 4.5 をこのコンピュータから削除します」を選択し、「次へ」を選択します。



2-2. MOT/Phone 本体をインストールする

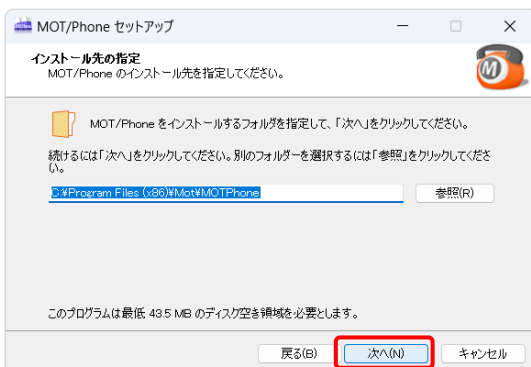
必要ファイルを事前にインストールしている状態が確認できましたら、次に MOT/Phone 本体をインストールします。



1. 旧バージョンの MOT/Phone が起動している場合はここで終了します。**[次へ]**をクリックし、セットアップを続行します。



2. 「利用許諾契約書の同意」を良くお読みください。**[同意する]**を選択すると**[次へ]**がクリックできるようになります。
クリックするとセットアップを続行します。



3. MOT/Phone をインストールするフォルダを選択します。フォルダが存在しない場合自動的に作成されます。**[次へ]**をクリックし、セットアップを続行します。

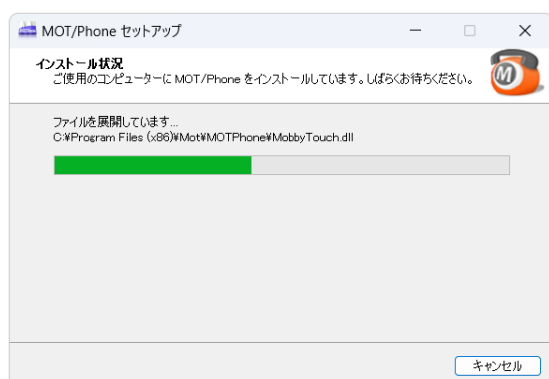


4. Windows 起動時に MOT/Phone を自動起動したい場合は**[スタートアップにショートカットを作成]**にチェックを入れます。
デスクトップに起動用ショートカットを作成したい場合は**[デスクトップにショートカットを作成]**にチェックを入れます。
クリックコールを MOT/Phone に設定する場合は**[クリックコール設定を登録]**にチェックを入れます。
MOT/Phone インストール後も別アプリにてクリックコールを利用する場合はチェックを外します。
設定後、**[次へ]**をクリックします。

5. 設定を確認し、[インストール]をクリックします。



インストール開始



6. インストールが完了しました。

セットアップウィザード終了後にアプリケーションを起動したい場合は、[MOT/Phone を起動]にチェックを入れて[完了]をクリックします。



2-3. MOT/Phone 利用時の推奨設定

PCの設定状態により、MOT/Phone アプリの動作が阻害され、正常に動作しない場合がございます。そのため、以下の設定ご確認ください。

2-3-1. ファイアウォールの設定を変更する

■ 概要

Windows ファイアウォールが有効になっている場合、正常に動作しないため、これを解除する設定を行います。

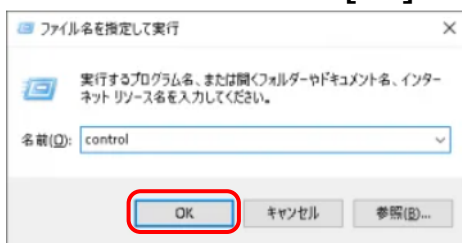
■ 設定方法概要

Windows のファイアウォール設定で、ブロックされている設定を許可に変更します。

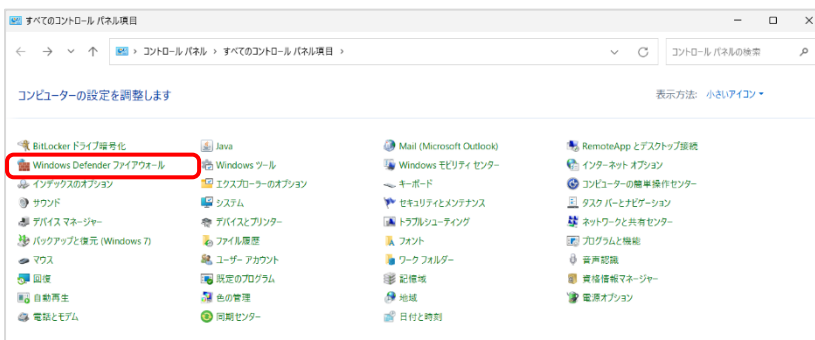
- ① キーボードの「Windows」キーを押しながら「R」キーを押します。



- ② 「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。
「control」と入力して[OK]を押します。



- ③ 「コントロールパネル」が表示されます。
「Windows ファイアウォール」(または「Windows Defender ファイアウォール」)を開きます。



④ 「詳細設定」を選択します。




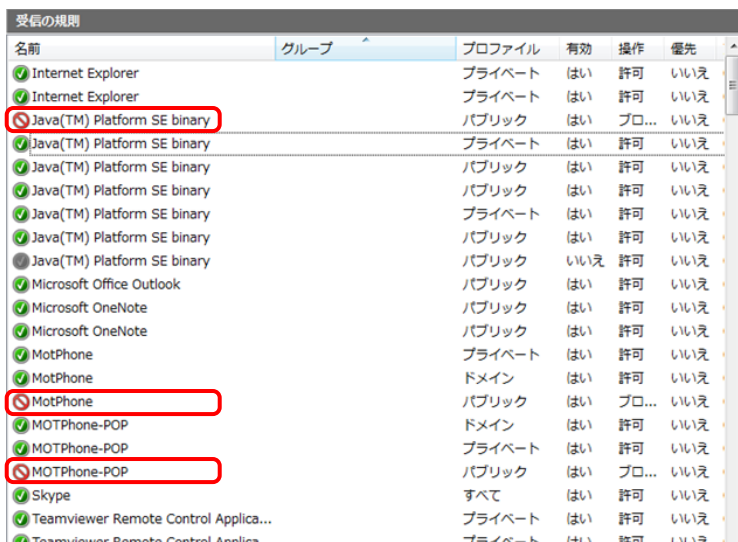
他のセキュリティソフトでファイアウォールを管理している場合は、セキュリティソフト側で MOT/Phone を許可する必要があります。

⑤ 「受信の規則」を選択します。

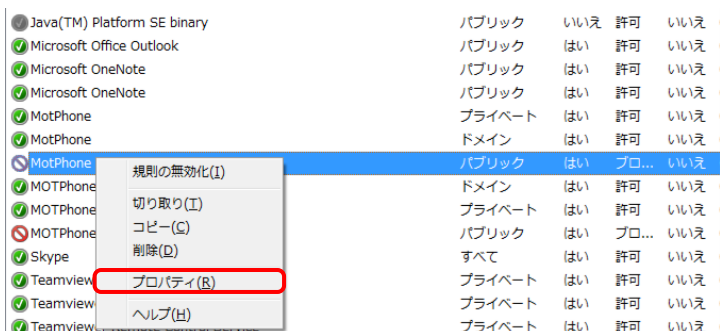


⑥ MotPhone、MotPhone-POP、Java***、OpenJDK*** という名前でブロックされている項目を確認します。

※  がブロックされている表示です。




⑦ ブロックを解除したいプログラムにカーソルを合わせ、右クリックしプロパティを選択します。



⑧ 「接続を許可する」にチェックを入れ、[OK]を押下します。



⑨ 接続許可の表示になっている事を確認します。

※  が許可されている表示です。

受信の規則	名前	グループ	プロファイル	有効	操作	優先
	Internet Explorer		プライベート	はい	許可	いいえ
	Internet Explorer		プライベート	はい	許可	いいえ
	Java(TM) Platform SE binary		パブリック	はい	プロ...	いいえ
	Java(TM) Platform SE binary		プライベート	はい	許可	いいえ
	Java(TM) Platform SE binary		パブリック	はい	許可	いいえ
	Java(TM) Platform SE binary		パブリック	はい	許可	いいえ
	Java(TM) Platform SE binary		プライベート	はい	許可	いいえ
	Java(TM) Platform SE binary		パブリック	はい	許可	いいえ
	Java(TM) Platform SE binary		パブリック	いいえ	許可	いいえ
	Microsoft Office Outlook		パブリック	はい	許可	いいえ
	Microsoft OneNote		パブリック	はい	許可	いいえ
	Microsoft OneNote		パブリック	はい	許可	いいえ
	MotPhone		プライベート	はい	許可	いいえ
	MotPhone		ドメイン	はい	許可	いいえ
	MotPhone		パブリック	はい	許可	いいえ
	MOTPhone-POP		ドメイン	はい	許可	いいえ
	MOTPhone-POP		プライベート	はい	許可	いいえ
	MOTPhone-POP		パブリック	はい	プロ...	いいえ
	Skype		すべて	はい	許可	いいえ

2-3-2. Windows のデータ実行防止を設定する

■ 概要

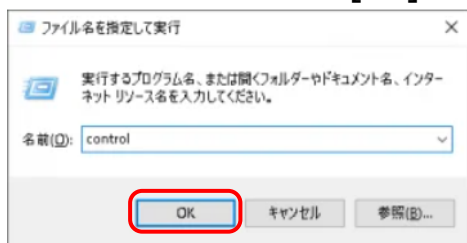
Windows のデータ実行防止を行う事で、MOT/Phone が頻繁なアプリケーション異常や落ちる問題の発生が解消する場合がございます。

■ 設定方法概要

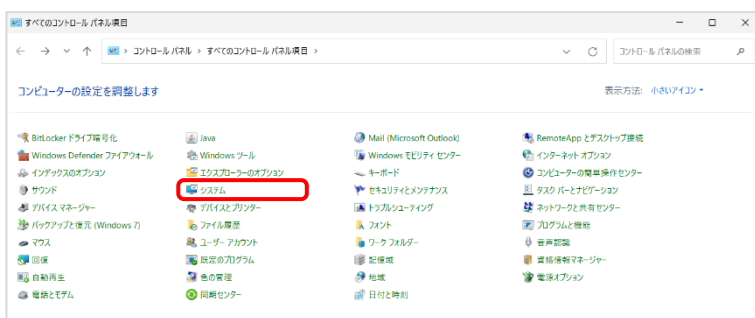
① キーボードの「Windows」キーを押しながら「R」キーを押します。



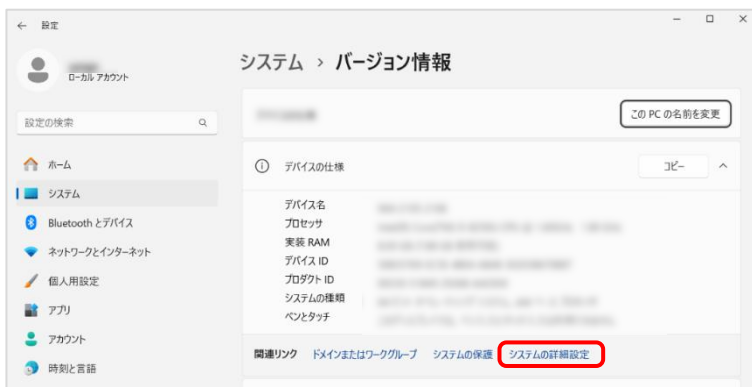
② 「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。
「control」と入力して[OK]を押します。



③ 「コントロールパネル」が表示されます。
「システム」を選択します。



④ 「システム詳細設定」を選択します。



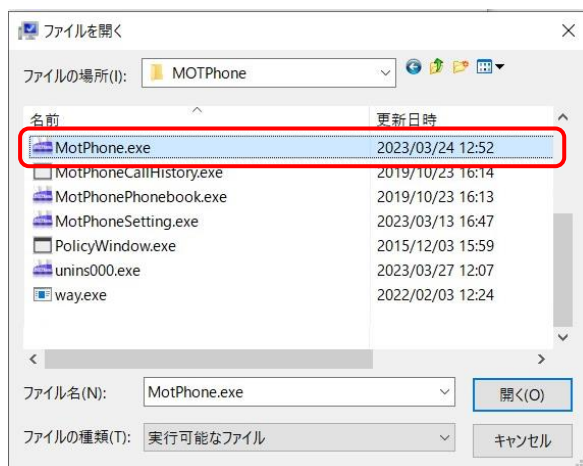
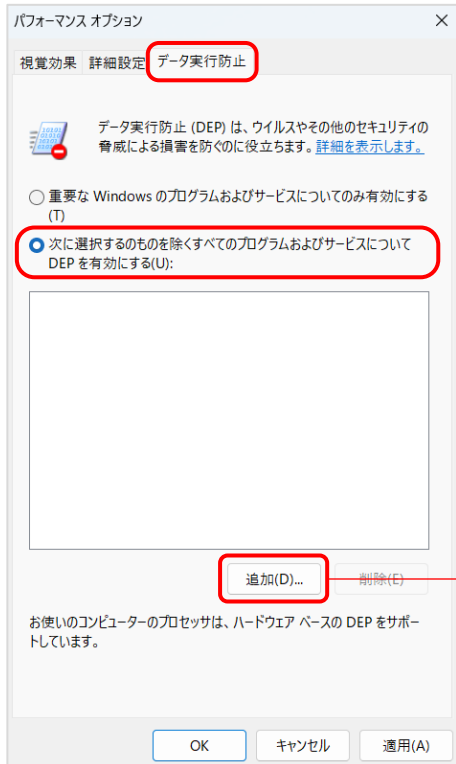
⑤ 「詳細設定」タブを選択し、パフォーマンスの[設定]ボタンを押します。



⑥ 「パフォーマンスオプション」画面が開きますので、「データ実行防止」タブを選択し、「次に選択するものを除くすべてのプログラムおよびサービスについて DEP を有効にする」にチェックをつけて、[追加]ボタンを押します。

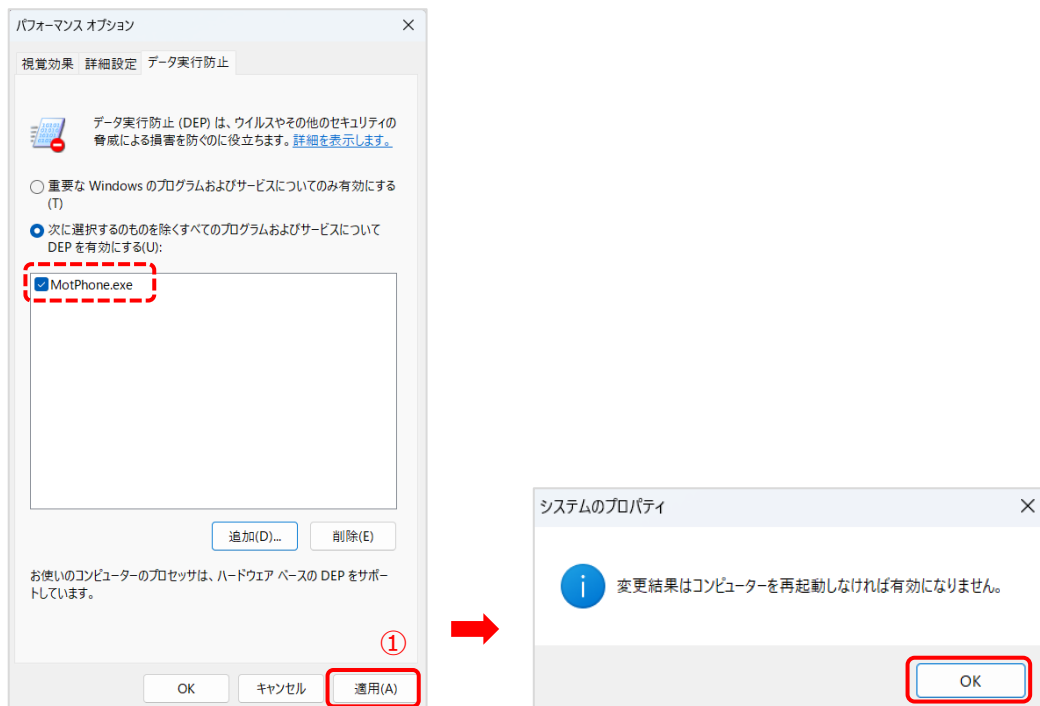
表示されたウィンドウから **MOTPhone.exe** を選択します。

インストール先例) C:¥Program Files (x86)¥Mot¥MOTPhone¥MotPhone.exe を選択



⑦ 「パフォーマンスオプション」画面に戻ると、枠内に「MOTPhone.exe」が表示されていることが確認できます。

[適用]→[OK]の順にボタンを押します。



⑧ Windows を終了し、パソコンを再起動します。

2-3-3. サウンドの設定を変更する

■ 概要

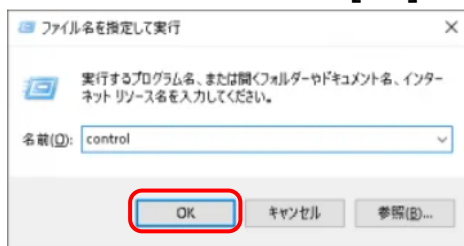
自分や電話の相手が PC 版の MOT/Phone アプリを利用している場合、PC 側の設定で音量が自動調整されてしまう場合があるため、本設定を行います。

■ 設定方法概要

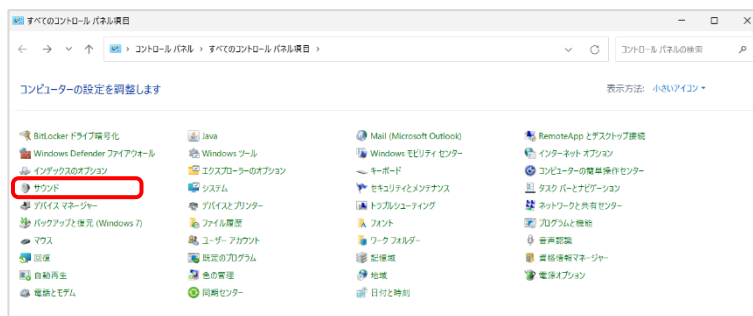
- ① キーボードの「Windows」キーを押しながら「R」キーを押します。



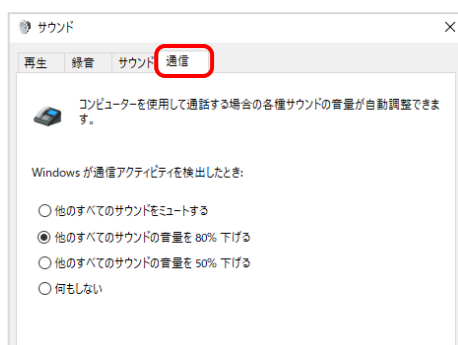
- ② 「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。
「control」と入力して[OK]を押します。



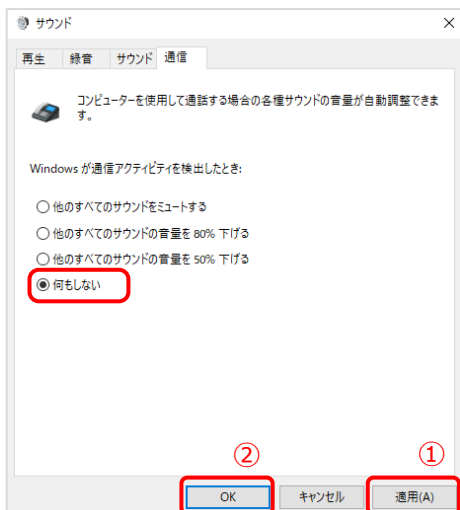
- ③ 「コントロールパネル」が表示されます。
「サウンド」を選択します。



- ④ 「通信」タブを選択します。



- ⑤ 「Windows が通信アクティビティを検出したとき」の設定を「**何もしない**」に設定し、**[適用]**→**[OK]**の順にボタンを押します。



コントロールパネルなど、各種画面を閉じます。

3. 初期設定

3-1. 初期設定

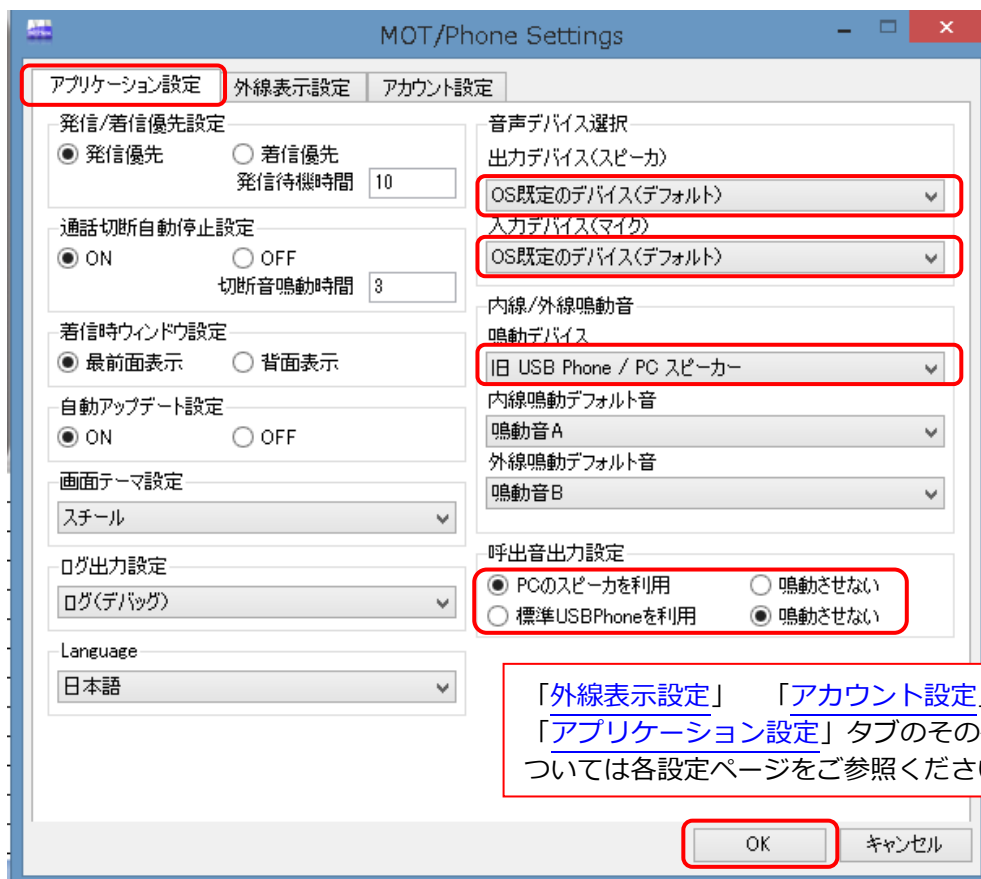
■ 設定画面

MOT/Phone が起動している状態において、**[設定]**ボタンを押すと設定ウィンドウが起動します。



設定ウィンドウの「アプリケーション設定」タブを選択します。

※使用する USB Phone が「HCU-205HT」「Calisto P240」の場合、「アプリケーション設定」は、必ず以下の設定でご利用ください。異なる設定をした場合鳴動音がなりません。



■ サウンド設定

USBPhone が鳴動しない、または相手に声が聞こえないなどの問題があった場合は、以下の Windows の設定をご確認ください。

Windows の[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→サウンド[オーディオデバイスの管理]で、以下のサウンドの画面を表示します。

※「既定のデバイス」に設定したオーディオ機器から、音を出力・再生します。

① HCU-205HT

「再生」タブと「録音」タブともに、スピーカー「USB Audio Device」が「有効」になっているかご確認ください。

以下のように、「無効」になっている場合は、右クリックのメニューから「有効」を選択し、「既定のデバイス」に設定してください。 ※「USB Audio Device」の名称は、PCによって異なる場合がございます。



[再生]タブ：「既定のデバイス」に設定



[録音]タブ：「既定のデバイス」に設定

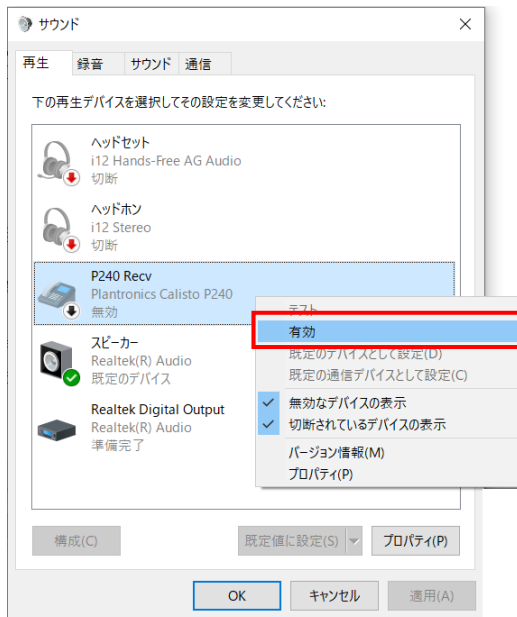


② Calisto P240 の場合

「再生」タブと「録音」タブともに、P240 Recv「Plantronics Calisto P240」が「有効」になっているかご確認ください。

以下のように、「無効」になっている場合は、右クリックのメニューから「有効」を選択し、「既定のデバイス」に設定してください。

※「Plantronics Calisto P240」の名称は、PCによって異なる場合がございます。



[再生]タブ：「既定のデバイス」に設定



[録音]タブ：「既定のデバイス」に設定



3-2. 設定画面の各項目説明

本体の「設定」ボタンを押下し、各設定タブの設定画面を開きます。
設定後は[OK]を押下します。

■ 「アカウント設定」タブ

「アカウント設定」タブでは、アカウント情報やサーバの設定をおこないます。

1. 「アカウント設定」タブを選択

2. アカウント情報を入力
MOT/PBX 側より割り振られる内線番号とパスワードを、「内線番号」、「パスワード」にそれぞれ入力します。

3. サーバ設定
・「手動設定 (IP)」を選択し、MOT/PBX の IP アドレスを入力します。
※MOT/PBX の MOT/PBX のユーザ画面利用時の IP と同じです。
・「SIP ポート」には、5060 を設定します。

■ 「アカウント設定」タブの設定項目

No	項目	説明	初期値
(1)	利用アカウント	利用するアカウントを選択します。 アカウントは 2 個まで保存して切り替える事が可能です。	アカウント 1
(2)	内線番号 パスワード	内線番号、パスワードを入力します。 ※パスワードは、内線番号と別にすることを推奨としております。	
(3)	サーバ登録周期	MOT/Phone POP-UP(SIP サーバ)に接続する間隔を設定します。 通常は初期値の 240 のままでご利用ください。 ※MOT/TEL (プラチナ、プレミアムプラン含む) をご利用の場合は、「30」に設定を変更してご利用ください。	240
(4)	パーク保留特番	パーク保留で利用する番号です。 ※通常は初期値のままでご利用ください。 ※本設定の詳細は「 パーク保留機能を設定する 」ページをご参照ください。	6
(5)	留守電特番	留守電機能で使用する番号です。 ※通常は初期値のままでご利用ください。	92
(6)	テナントコード	MOT/TEL をご利用の場合に、テナントコードを入力します。 MOT/PBX をご利用の場合は初期値のまま入力不要です。	

(7)	NAT 利用	<p>N A T利用の際にチェックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバルアカウントをご利用の場合は、チェックを入れてください。 ・MOT/TEL をご使用の場合は、チェックを入れてください。 	
(8)	接続先設定	<p>本ソフトの接続先を設定します。</p> <p>通常は、接続先「手動設定 (IP)」を選択し、MOT/PBX の IP アドレスを入力します。</p> <p>※「手動設定 (Domain)」は、MOT/TEL やドメインご利用の場合に選択します。</p> <p>※「MOT-POPUP」は通常利用しません。</p> <p>※本設定の詳細は「接続先 (PBX) の設定を行う」ページをご参照ください。</p>	手動設定 (IP)
(9)	SIP ポート	<p>SIP ポートを入力します。</p> <p>※通常は初期値の 5060 のままでご利用ください。</p> <p>※ポップアップ側の設定値と併せます。詳細は「利用するポート番号を設定する」ページをご参照ください。</p>	5060
(10)	クライアント SIP ポート	<p>自身で利用する SIP ポートを入力します。</p> <p>※通常は初期値のままでご利用ください。</p>	5090
(11)	RTP ポート利用範囲	<p>RTP 通話に利用するポート番号の利用範囲を入力します。</p> <p>※通常は初期値のままでご利用ください。</p>	50000 ~ 60000

■ 「アプリケーション設定」タブ

「アプリケーション設定」タブでは鳴動音、音声デバイスの設定等、動作にかかわる設定を行います。



4. アプリケーション設定タブ
を選択

5. 音声デバイス選択
ご利用する USBPhone の名称
を選択します。
※もしくは前項の「[初期設定](#)
■ [設定画面](#)」ページをご参照く
ださい。

6. 内線/外線鳴動音設定
着信時の鳴動音を設定しま
す。

7. 呼出音出力設定
呼出音の出カデバイスを選択
します。

■ 「アプリケーション設定」タブの設定項目

No	項目	説明	初期値
(12)	発信/着信優先設定	発信中に着信するか（着信優先）、発信中は着信を無視するか(発信優先)を選択します。 「発信待機時間」項目は、発信優先を選択した場合に、ダイヤルしてから何秒間を発信中とみなすかを秒数設定します。 ※本設定の詳細は「 発信/着信優先設定を行う 」ページをご参照ください。	発信優先 (10 秒)
(13)	通話切断自動停止設定	通話終了後、自動でオンフックするかどうかと、自動切断と見なすまでの秒数を設定します。 ※本設定の詳細は「 通話切断音の時間を変更する 」ページをご参照ください。	ON (3 秒後)
(14)	着信時ウィンドウ設定	着信した時のウィンドウを最前面に表示するか、裏（背面）に表示したままにするかを設定します。 ※本設定の詳細は「 着信時にディスプレイの最前面に表示する 」ページをご参照ください。	最前面表示
(15)	自動アップデート設定	ソフト起動時にアップデートの確認をし、自動でアップデートを行います。 ※本設定の詳細は「 アプリの自動アップデートを有効にする 」ページをご参照ください。	ON
(16)	画面テーマ設定	MOT/Phone の画面テーマを設定します。 ※本設定の詳細は「 アプリの外観を変更する 」ページをご参照ください。	スチール

(17)	ログ出力の設定	<p>「ログ (デバッグ)」を選択すると、アプリケーションの動作ログ出力を有効にします。</p> <p>※万が一の異常時や正常に作動しない場合に、本設定を有効にしておくことで、ログを出力することが可能です。</p> <p>弊社サポートセンターから依頼があった場合に、ログのご提出をお願いいたします。ログの保存先については、以下に記載の《ログの取得方法》をご確認ください。</p>	出力しない
(18)	Language	使用する言語を選択します	日本語
(19)	音声入出力デバイス	<p>音声を出力する装置 (スピーカー・ヘッドホン)、入力する装置 (マイク) を選択します。</p> <p>USB の選択を行った場合、違うポートに接続した場合は再度設定を行う必要がございます。</p> <p>※本設定の詳細は「音声デバイス (USBPhone や PC スピーカー) 設定を変更する」ページをご参照ください。</p>	OS 既定のデバイス
(20)	内線/外線鳴動音	<p>内線もしくは、外線から着信した際の鳴動音・鳴動音量を設定します。</p> <p>※「外線表示設定」タブでラインボタン設定を行っている場合は、そちらの設定が優先されます。</p> <p>※ 旧 USBPhone から出力される鳴動音は変更できません。</p> <p>※本設定の詳細は「内線/外線着信時の鳴動音を変更する」ページをご参照ください。</p> <p>※USB ハンドセット (NYC-USB-HS) をご利用の場合は、USB ハンドセット端末の鳴動音を利用する使い方になるため、MOT/Phone アプリの内線・外線の鳴らし分けはご利用いただけません。</p>	
(21)	呼出音出力設定	<p>着信した際の呼出音の設定を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「PC のスピーカーを利用」 USB Phone 利用時に PC 側から着信音を鳴らします。 ■ 「標準 USBPhone を利用」 着信時に「画面テーマ設定」、「内線/外線鳴動音」の設定とは無関係に USBPhone から着信音を鳴らさない場合に選択します。 <p>※USB ハンドセット (NYC-USB-HS) をご利用の場合は、USB ハンドセット端末の鳴動音を利用する使い方になるため、MOT/Phone アプリの鳴動音は利用できません。</p> <p>以下 2 項目ともに「鳴動させない」を選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PC のスピーカーを利用 : 「鳴動させない」を選択 ・ 標準 USBPhone を利用 : 「鳴動させない」を選択 	「PC のスピーカーを利用」

《ログの取得方法》

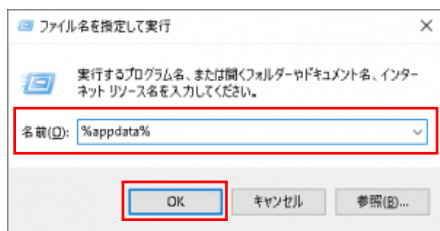
※弊社サポートセンターから依頼があった場合に、以下の手順でログを取得してください。

上記 (17) 「ログ出力の設定」項目で、「ログ (デバック)」が選択されていることが前提条件です。

1. キーボードの「**Windows**」キーを押しながら、「**R**」キーを押します。

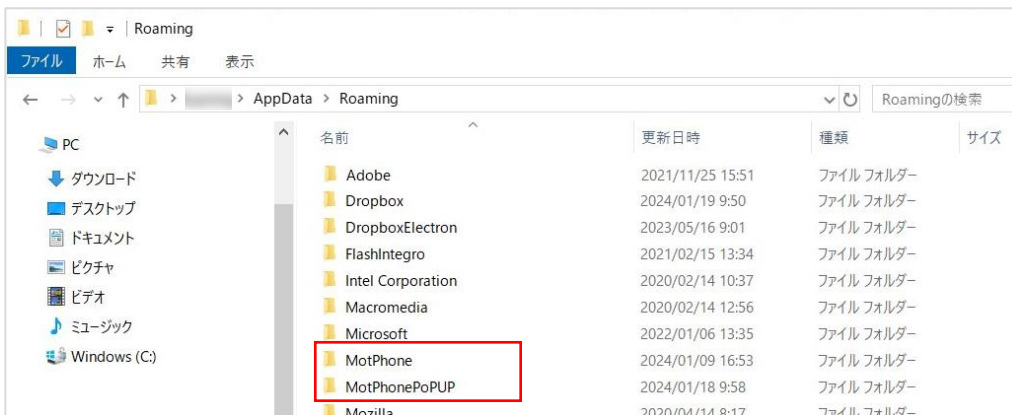


2. 「ファイル名を指定して実行」画面が表示されるので、「**%appdata%**」と入力し、[OK]を押します。



3. 「C:¥Users¥ (ユーザー名) ¥AppData¥Roaming」のフォルダを表示します。

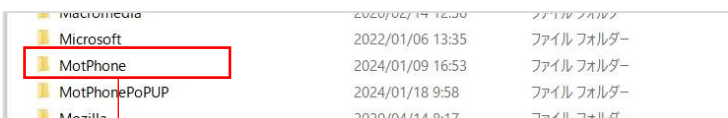
そのフォルダ内にある「MotPhone」と「MotPhonePoPUP」というフォルダから、ログを取得します。

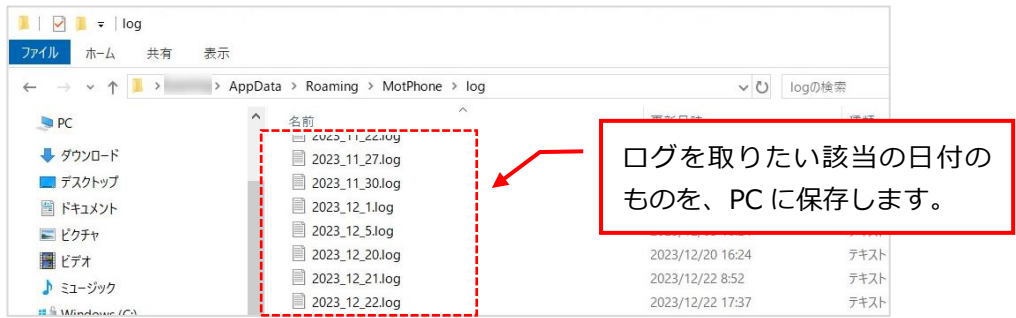
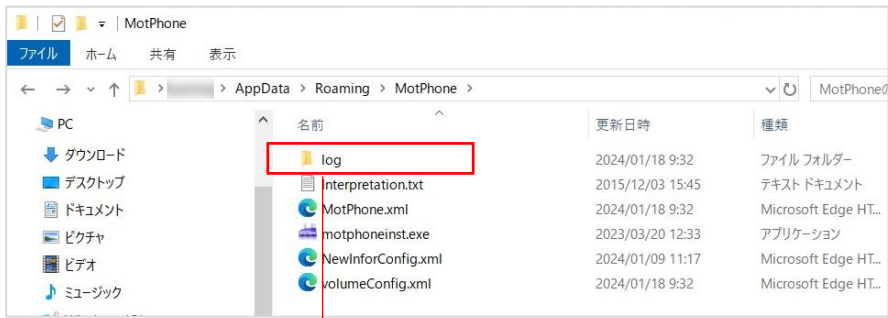


「MotPhone」フォルダには Windows 版 MOT/Phone のログ、「MotPhonePoPUP」フォルダには Windows 版 MOT/PhonePOPUP のログが保存されています。

それぞれのフォルダ内にある「log」というフォルダから、ログを取りたい該当の日付のものを PC に保存します。

通話履歴のデータは、「MotPhonePoPUP」フォルダ内に入っているので、ログを取りたい該当の日付のものを PC に保存します。

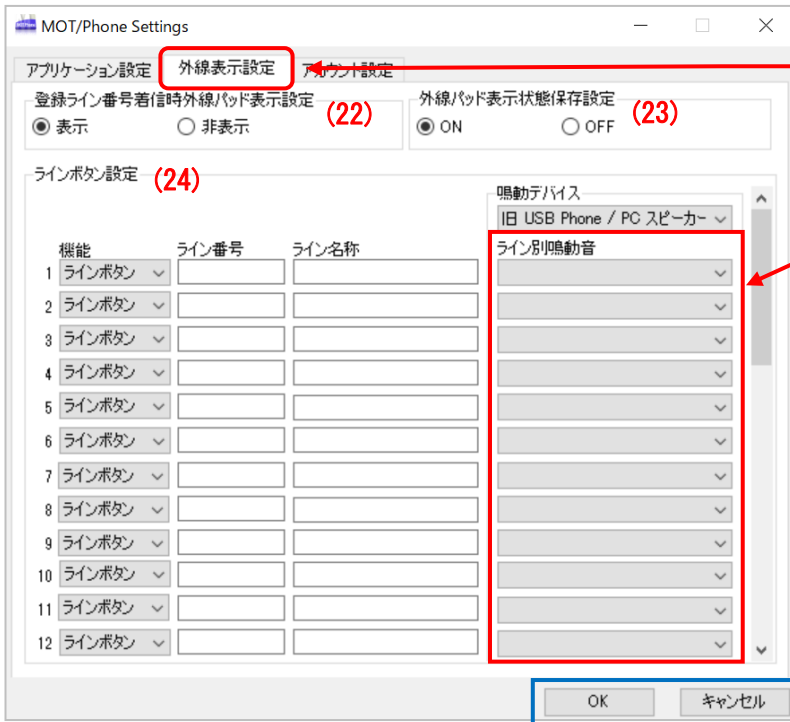




ログを取りたい該当の日付のものを、PCに保存します。

■ 「外線表示設定」タブ

「外線表示設定」タブでは、ワンタッチダイヤル等、ラインボタンの設定をおこないます。



8. 外線表示設定タブを選択

9. 外線番号を指定した着信時の鳴動音を設定

外線番号を指定した着信時の鳴動音を設定します。
※外線番号を指定した着信時の鳴動音設定は、外線鳴動デフォルト音より優先されます。

■ 「外線表示設定」タブの設定項目

No	項目	説明	初期値
(23)	登録ライン番号着信時外線パッド表示設定	ラインボタンに設定した外線電話番号から着信した場合に、外線パッドを開きます。 ※本設定の詳細は「 外線着信時に、外線パッドを自動的に表示する 」ページをご参照ください。	ON
(24)	外線パッド表示状態保存設定	外線パッドの表示状態を保持するかどうかを設定します。 ※本設定の詳細は「 起動時の外線パッドの開閉状態を設定する 」ページをご参照ください。	ON
(25)	ラインボタン設定	外線パッドのボタンに、ラインボタンやワンタッチなどのボタン割り付けが行えます。 ・機能：ラインボタン、ワンタッチ、留守電機能のボタンを選択します。 ・ライン番号：外線側の電話番号を設定します。 ・ライン別鳴動音：設定した番号に着信した場合の着信鳴動音を設定します。 ※旧 USBPhone から出力される鳴動音は変更できません。 ※本設定の詳細は「 外線パッドの設定を行う 」ページをご参照ください。	

設定後、[OK]ボタンを押下します。

[OK]ボタン押下後は、右図のメッセージが表示されますので、アプリを終了し、起動してください。

アプリの終了と再起動で、設定内容が反映されます。

[OK]ボタンを押下せずに[キャンセル]ボタンを押下すると、設定を確定せずにウィンドウを閉じます。



4. 操作方法

4-1. 起動と終了

■ 初回起動

MOT/Phone インストール時にスタートアップ登録した場合は自動起動します。

スタートアップ登録していない場合は、以下[スタート][すべてのプログラム][MOT][ソフトフォン]の中より[MOT Phone]をクリックしてください。

※Windows 10 の例



■ 終了と最小化

MOT/Phone を終了、または最小化する場合は、ソフトフォン画面の右上のボタンをクリックしてください。







起動時にエラーが出力される場合は、必要なファイルがインストールされていないか、実行に必要な権限が割り当てられていない場合がございます。

必要ファイルがインストールされた後もエラーが出力される場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。


4-2. 発信から切断

■発信

- (1) MOT/Phone が起動している状態でダイヤルパッドもしくは、USB Phone から電話番号をダイヤルします。
ステータスは[待機中]と表示されます。
- (2) ダイヤルすると  ボタンが、緑ボタンに変わり、 ボタンを押す事で発信します。
- (3) 通話が開始されるとステータスが[通話中]に変わり、 ボタンが  ボタンになります。



■切断

- (4)  ボタンを押すと通話を切断します。



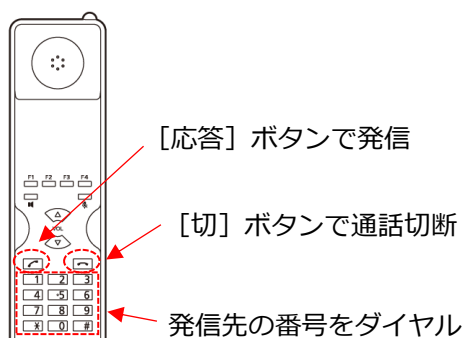
MOT/PBX シリーズをご利用のユーザー様は市外局番なしで発信可能ですが、MOT/TEL (プラチナプラン・プレミアム B プランの場合、セカンダリ利用時) のユーザー様は、**市外局番をつけて発信する必要があります。**

■USB Phone からの操作

- (1) USB Phone を利用する場合の発信は、発信先の番号をダイヤル後、通話ボタンを押します。
※USB Phone のディスプレイに入力した番号が表示されます。
※Calisto P240 は入力中の番号は表示されませんのでご注意ください。
※HCU-205HT-r2-BK (黒タイプ) は、ディスプレイがありませんのでご注意ください。
- (2) 通話を切断する場合は、通話切断ボタンを押します。






■USB ハンドセットからの操作

- (1) USB ハンドセットを利用する場合の発信は、発信先の番号をダイヤル後、[応答] ボタンを押すと、発信します。
- (2) 通話を切断する場合は、[切] ボタンを押します。






4-3. 着信から保留、転送

■ 着信

- (1) MOT/Phone が起動している状態で着信すると、 ボタンが  緑色と  橙色の点滅に変わり、ディスプレイに発信者番号通知されます。ステータスは**[着信中]**と表示されます。
- (2) この状態で  ボタンを押すと通話が開始され、 橙色となりステータスが**[通話中]**となります。
※CPU の負荷によっては鳴動音の間隔が不安定になることがございますが動作上影響ございません。








■ 保留

- (3) 通話中に  ボタンを押すと通話が保留され、ボタンが  に変わります。相手には保留音が流れます。ステータスは**[保留中]**と表示されます。
- (4) 保留を解除する場合は、再度  ボタンを押します。再度通話状態になります。



■ 保留転送

- (5) 保留中に転送先の番号をダイヤルすると、 ボタンが  に変化し、転送可能状態となります。
- (6) この時  ボタンを押すと転送先と通話状態となります。
※保留した相手には保留音が聞こえています。
- (7) 転送先と通話状態で  ボタンを押すと転送を取り止め、保留中に戻ります。
- (8) 転送先と通話状態で  ボタンを押すと通話が転送されます。



■ 電話帳を利用した保留転送


電話帳を使用し、保留転送を行うことも可能です。

- (5) 上記(3)の保留中状態から「電話帳ボタン」を押します。
- (6) 開いた電話帳から、転送先の名前をダブルクリックします。
- (7) 転送先と通話後に切断をすると電話帳を利用した保留転送が完了します。



■ USB Phone からの操作

<HCU-205HT>





・着信

着信中に  を押すと通話開始になります。

・保留

- (1) USB Phone から保留をする場合、通話中に  ボタンを 1 回押します。
- (2) 解除する場合は、再度  ボタンを 1 回押します。

・保留転送

- (1) 通話中に  ボタンを押すと相手が保留になります。
- (2) 転送先の番号をダイヤルして  (転送) ボタンを押します。
- (3) 転送先電話が呼出しされますので、相手が転送に応える場合は  ボタンを押して転送します。
- (4) 転送先が応答しない等、元の通話に戻る場合は、再度  (転送) ボタンを押します。




<Calisto P240>

・着信



着信中に[通話ボタン]を押すと通話開始になります。[スピーカーボタン]を押すとハンズフリー通話が始まります。

※通話開始後にハンズフリー通話への切り替えも可能です。

・保留 (P240 USB Phone からの操作)

- (1) USB Phone から保留をする場合、通話中に  ボタンを 2 回押します。
- (2) 解除する場合は、再度  ボタンを 2 回押すか、 ボタンを 1 回押します。

・保留転送 (P240 USB Phone からの操作)

- (1) 通話中に「*8#」を押すと相手が保留になります。
※USB Phone 操作の場合、相手側にピツという音が鳴ります。
- (2) 転送先の番号をダイヤルして最後に「#」を押します。
- (3) 元の通話に戻る場合は、 ボタンを押します。
- (4) 電話が呼出しされますのでそれに対して  ボタンを押して応答します。

P240 ボタン配置図

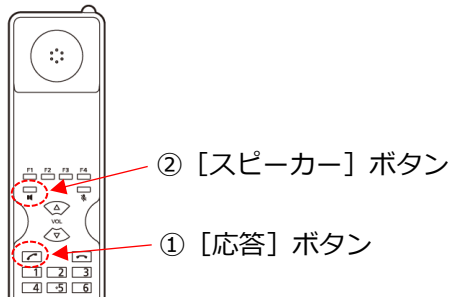


■ USB ハンドセットからの操作

<NYC-USB-HS>

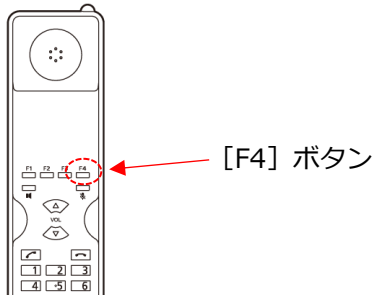
・着信

- ①着信中に[応答]ボタンを押すと、通話を開始します。
- ②通話中に[スピーカー]ボタンを押すと、スピーカーに切り替わり、ハンズフリー通話を開始します。



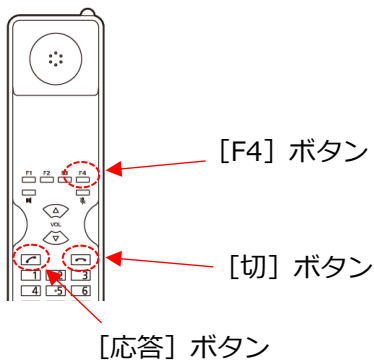
・保留 (NYC-USB-HS からの操作)

- (1) USBハンドセットから保留をする場合、通話中に [F4] を押下すると、通話を保留することができます。
- (2) 保留を解除する場合は、再度 [F4] を押下します。



・保留転送 (NYC-USB-HS からの操作)

- (1) 通話中に [F4] を押下すると、通話を保留になります。
- (2) 転送先の番号をダイヤルして最後に [応答] ボタンを押して転送先を呼び出します。
- (3) 転送先と通話状態で [切] ボタンを押すと、転送が実行されます。
- (4) 転送を実行しない場合は、(3) の動作ではなく、
転送先と通話状態で [応答] ボタンを押すと、転送をとりやめて、保留中の状態に戻ります。



4-4. パーク保留



■パーク保留

- (1) 通話中にパーク保留ボタン **1** を押すことにより通話中の電話を保留する事ができます。
- (2) 保留された通話は **1** のパークボタンとして表示され、別な電話機からピックアップする事が可能です。



■パーク保留 USB Phone からの操作

<HCU-205HT>

- (1) 通話中に  ボタンを押し、引き続きパーク番号「1」～「6」を押すことでパーク保留ができます。
- (2) パーク保留をとる場合は、待機中に  ボタンを押し、保留されているボタンの番号「1」～「6」を押すことでパーク保留をとることができます。

<Calisto P240>

- (1) 通話中にパーク特番「*6」と保留するパーク番号「1」～「6」を押すことでパーク保留ができます。
※USB Phone 操作の場合、相手側にピツという音が鳴ります。
- (2) パーク保留をとる場合はパーク特番「*6」と保留されているボタンの番号「1」～「6」を押すことで保留をとることができます。

■パーク保留 USB ハンドセットからの操作

<NYC-USB-HS>

- (1) 通話中に [F3] ボタンを押下後、保留するパーク番号「1」～「6」をテンキーで押すことでパーク保留ができます。
- (2) パーク保留をとる場合も同様に、[F3] ボタンを押下後、保留されているボタン番号「1」～「6」を押すことで保留をとることができます。



ナカヨ電話機を利用している場合のパーク特番は「6」、それ以外の初期値は「*6」となります。

5. 各種機能の設定方法

5-1. 電話番号情報を設定する

■ 概要

内線番号、パスワードを設定します。

通常、MOT/Phone Windows 版はこの設定を行うだけで利用可能になります。

■ 設定方法

- (1) 設定画面を開きます。
- (2) 「アカウント設定」タブを選択します。
- (3) 「クライアント設定」を設定します。
 - ・内線番号 … 内線番号を入力します。
 - ・パスワード … パスワードを入力します。
- (4) 「サーバ設定」を設定します。「手動設定 (IP)」にご利用になる IP アドレスを入力します。
- (5) [OK]を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。

The screenshot shows the 'MOT/Phone Settings' window with the 'アカウント設定' (Account Settings) tab selected. The 'クライアント設定' (Client Settings) section is highlighted with a red box, showing fields for '内線番号' (Internal Number) and 'パスワード' (Password). The 'サーバ設定' (Server Settings) section is also highlighted with a red box, showing the '手動設定(IP)' (Manual Setting (IP)) option selected with the IP address '192.168.1.1'. Other visible settings include 'ポート設定' (Port Settings) with 'クライアントSIPポート' (Client SIP Port) at 5090 and 'RTPポート範囲' (RTP Port Range) from 50000 to 60000. The 'ポップアップ連動設定' (Popup Linkage Settings) section has 'ON' selected. The 'クラウドアカウント設定' (Cloud Account Settings) section has empty fields for '契約顧客番号' (Contract Customer Number), 'ユーザID' (User ID), and 'パスワード' (Password). The '外部連動機能を利用' (Use External Linkage Function) section has 'OFF' selected. The '表示のタイミング' (Display Timing) section has '通話開始時' (At Call Start) selected. The window has 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons at the bottom.

5-2. パーク保留機能を設定する

■ 概要

パーク保留特番を設定します。

設定した番号のパークグループをパークボタンで利用できます。

■ 設定方法

- (1) 設定画面を開きます。
- (2) 「アカウント設定」タブを選択します。
- (3) パーク保留特番欄にパーク保留特番を入力します。
- (4) [OK]を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。

MOT/Phone Settings

アプリケーション設定 外線表示設定 **アカウント設定**

アカウント設定
利用アカウント アカウント1[311]

クライアント設定
内線番号 311
パスワード *****
サーバ登録周期 240
パーク保留特番 6
留守電特番 92
テナントコード
NAT利用 有効にする

サーバ設定
接続先
 MOT-POPUP
 手動設定(IP)
 手動設定(Domain)
SIPポート 5060

ポート設定
クライアントSIPポート 5090
RTPポート範囲 50000 - 60000

ポップアップ連動設定
 ON OFF
POPUPアドレス 127.0.0.1
POPUPポート 5080
キープアライブ確認間隔 20 (1~3600秒)

クラウドアカウント設定
契約顧客番号
ユーザID
パスワード

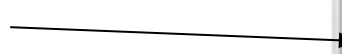
外部連動機能を利用
 ON OFF
URL
*TELは相手番号に変換されます。
*PCPIは着信自局番号に変換されます。
*CALLIDはCall-IDに変換されます。

表示のタイミング
 通話開始時 着信時

OK キャンセル

パーク保留特番を設定すると、パーク保留ボタンを押下した際に「パーク保留特番 + パーク保留ボタンの番号」として動作します。

例：パーク保留特番が「6」の場合



5-3. アカウントを複数設定する・切り替える

■ 概要

アカウントの切り替えを利用することで2つまでのアカウント情報を設定することが可能です。

■ 設定方法

- (1) 設定画面を開きます。
- (2) 「アカウント設定」タブを選択します。
- (3) 「利用アカウント」メニューから、利用したいアカウントを「アカウント1」「アカウント2」から選択します。
- (4) [OK]を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。

MOT/Phone Settings

アプリケーション設定 外線表示設定 **アカウント設定**

アカウント設定

利用アカウント **アカウント1[311]**

クライアント設定

内線番号 311

パスワード *****

サーバ登録周期 240

パーク保留特番 6

留守電特番 92

テナントコード

NAT利用 有効にする

サーバ設定

接続先

MOT-POPUP

手動設定(IP)

手動設定(Domain)

SIPポート 5060

ポート設定

クライアントSIPポート 5090

RTPポート範囲 50000 - 60000

ポップアップ連動設定

ON OFF

POPUPアドレス 127.0.0.1

POPUPポート 5080

キープアライブ確認間隔 20 (1~3600秒)

クラウドアカウント設定

契約顧客番号

ユーザID

パスワード

外部連動機能を利用

ON OFF

URL

%TELは相手番号に変換されます。
%PCPIは着信自局番号に変換されます。
%CALLIDはCall-IDに変換されます。

表示のタイミング

通話開始時 着信時

OK キャンセル

■ 注意事項

両方のアカウントを同時に利用することはできません。

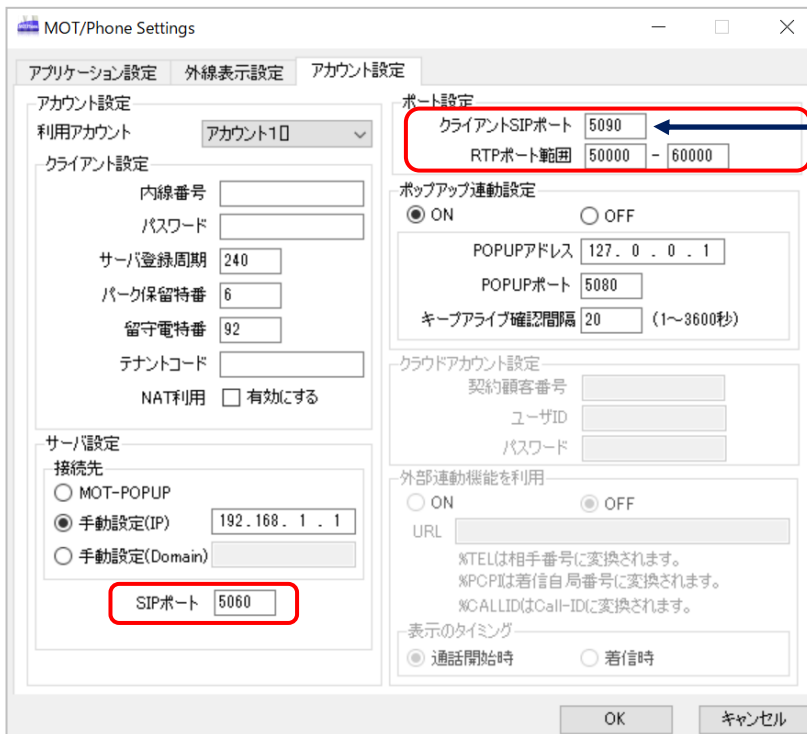
5-4. 利用するポート番号を設定する

■ 概要

クライアント SIP ポート、サーバ SIP ポート、RTP ポートを設定します。

■ 設定方法

- (1) 設定画面を開きます。
 - (2) 「アカウント設定」タブを選択します。
 - (3) 各種設定を行います。
 - ・サーバ SIP ポート … 接続先の SIP ポートです。直接 SIP サーバに接続している場合は、初期値の「5060」を設定します。
 - ・クライアント SIP ポート … 自局側の SIP ポートです。初期値の「5090」を設定します。
 - ・RTP ポート範囲 … 通話音声データをやりとりするポート番号です。
(最小値 - 最大値) の範囲で入力します。
- ※MOT/TEL ご利用の場合は、上記と異なります。詳細は別紙「MOT/TEL マニュアル」をご参照ください。
- (4) [OK]を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。

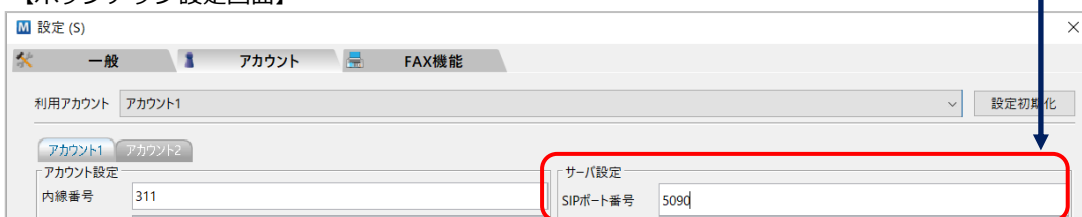


同値を設定

■ 注意事項

「クライアント SIP ポート」は、
POPUP クライアントの「SIP ポート番号」と同値(通常 5090)を設定します。

【ポップアップ設定画面】



5-5. 接続先 (PBX) の設定を行う

5-5-1. サーバ手動設定 (POPUP 連動なし)

■ 概要

MOT/Phone Windows 版は通常 POPUP クライアントを經由して SIP サーバに接続しますが、セキュリティソフトなどの関係上、PC 内部での通信が制限されてしまう場合があります。その場合、SIP サーバに直接接続することで解決する場合がございます。なお、この機能を利用すると一部機能が制限されます。(注意事項に後述)

■ 設定方法

- (1) 設定画面を開きます。
- (2) 「アカウント設定」タブを選択します。
- (3) サーバ設定の接続先設定を「手動設定 (IP)」に変更し、IP アドレス欄に SIP サーバの IP アドレスを入力します。
- (4) 下の SIP ポート欄に SIP サーバのポート番号を入力します。
- (5) ポップアップ連動設定を OFF にします。
- (6) [OK]を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。
⇒ポップアップ連動設定を「OFF」で設定することで、POPUP クライアントの連動機能が動作しなくなります。

■ 注意事項

手動設定にした場合、POPUP クライアントとの連携がとれなくなるため、履歴機能と電話帳機能が利用できなくなりますのでご注意ください。

MOT/Phone Settings

アプリケーション設定 外線表示設定 アカウント設定

アカウント設定
利用アカウント アカウント1[311]

クライアント設定
内線番号 311
パスワード *****
サーバ登録周期 240
パーク保留特番 6
留守電特番 92
テナントコード
NAT利用 有効にする

サーバ設定
接続先
 手動設定(IP) 手動設定(Domain)
SIPポート 5060

ポート設定
クライアントSIPポート 5090
RTPポート範囲 50000 - 60000

ポップアップ連動設定
 ON OFF
POPUPアドレス 127.0.0.1
POPUPポート 5080
キーブライブ確認間隔 20 (1~3600秒)

クラウドアカウント設定
契約顧客番号
ユーザID
パスワード

外部連動機能を利用
 ON OFF
URL
%TELは相手番号に変換されます。
%PCPIは着信自局番号に変換されます。
%CALLIDはCall-IDに変換されます。

表示のタイミング
 通話開始時 着信時

POPUP クライアントと連動しない

OK キャンセル

5-5-2. サーバ手動設定（POPUP 連動あり）

■ 概要

MOT/Phone Windows 版を SIP サーバに直接接続しますが、POPUP クライアントと連動し履歴機能と電話帳機能を使用する事ができます。本機能は MOT/Phone version 6.2.0 以降で使用できます。

MOT/Phone が SIP サーバと直接通信しますので、PC 内部での通信負荷が軽減されます。MOT/Phone が主体で POPUP と連携しますが、ユーザはサーバ設定で MOT-POPUP を選択した時と同様に CTI ポップアップの表示、履歴機能、及び電話帳機能をそのまま使用することができます。

■ 設定方法

- (1) 設定画面を開きます。
- (2) 「アカウント設定」タブを選択します。
- (3) サーバ設定の接続先設定を「手動設定 (IP)」に変更し、IP アドレス欄に SIP サーバの IP アドレスを入力します。
- (4) 下の SIP ポート欄に SIP サーバのポート番号を入力します。
- (5) ポップアップ連動設定は、初期値のまま ON にします。
設定項目の詳細は初期値の設定を推奨しますが、
各項目変更する場合は POPUP クライアントと設定をあわせる必要があります。
詳細は以下の注意事項をご参照ください。
- (6) [OK]を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。
⇒ポップアップ連動設定を「ON」で設定することで、POPUP クライアントの連動機能が動作します。

■ 注意事項

手動設定（POPUP 連動あり）にした場合、POPUP クライアント側の設定も変更する必要がありますのでご注意ください。

■ 手動設定（POPUP 連動あり）時の MOT/Phone 設定例

The screenshot shows the 'MOT/Phone Settings' window with the 'アカウント設定' (Account Settings) tab selected. The 'サーバ設定' (Server Settings) section is highlighted with a red box, showing '接続先' (Connection) set to '手動設定(IP)' (Manual Setting (IP)) and 'SIPポート' (SIP Port) set to 5060. The 'ポップアップ連動設定' (Popup Synchronization Settings) section is also highlighted with a red box, showing 'ポップアップ連動設定' (Popup Synchronization) set to 'ON', 'POPUPアドレス' (POPUP Address) set to 127.0.0.1, 'POPUPポート' (POPUP Port) set to 5080, and 'キープアライブ確認間隔' (Keep-alive check interval) set to 20 seconds. Annotations with arrows point to these settings and provide additional instructions:

- NAT 利用する場合はチェック** (Check if using NAT) - points to the 'NAT利用' checkbox.
- POPUP クライアントと連動するので ON** (ON because it synchronizes with POPUP client) - points to the 'ON' radio button.
- POPUP クライアントと MOT/Phone が同じ PC 内であれば、以下初期値の設定** (If both are on the same PC, use the following default settings):
 - ・POPUP アドレスは、127.0.0.1
 - ・POPUP ポートは、5080 を設定
- サーバと MotPhone との生存確認間隔です。推奨値は、初期値の 20 秒です。** (This is the keep-alive check interval between the server and MotPhone. The recommended value is the default 20 seconds.) - points to the 'キープアライブ確認間隔' field.
- 手動設定を選択し、接続する PBX の IP アドレスとポート番号を設定** (Select manual setting and set the IP address and port number of the PBX to connect) - points to the '手動設定(IP)' radio button and the 'SIPポート' field.

■ 手動設定 (POPUP 連携あり) 時の POPUP クライアント設定例

【ポップアップ設定画面】

「一般」タブ

設定 (S)

一般 アカウント FAX機能

基本設定

表示言語 日本語

起動時にファームウェアの更新を確認する

デバッグログ出力

画面テーマ選択 ブルー

利用SIPポート 5080

* 設定は再起動後に有効になります。

連動電話機 ソフトフォン

電話帳の自動同期設定

共通電話帳をMOT/PBXと自動同期

クラウド電話帳をMOT/Cloudと自動同期

HTTPプロキシ設定

HTTPプロキシを利用

プロキシサーバ

ポート番号

ローカルのアドレスにはプロキシを利用しない

着信情報ウィンドウ設定

ウィンドウ表示位置 中央

表示時の状態 スクリーン

着信時に自動ポップアップ

通話開始時に自動ポップアップ

応答の通知を消さない

通話した通知を消さない

着信先番号を表示

ポップアップ時に相手発番号をコピー

使用検索エンジン Google

パスワード

電話受付時動作

着信自局番号の情報を表示

ポップアップの代替機能として利用する

MOT/Phone 設定の「POPUP ポート」(推奨 5080) と一致させます。

ソフトフォンを選択

「アカウント」タブ

設定 (S)

一般 アカウント FAX機能

利用アカウント アカウント1

設定初期化

アカウント1 アカウント2

アカウント設定

内線番号 311

サーバアドレス 127.0.0.1

パスワード

パスワードを保存

テナントコード

サーバ設定

SIPポート番号 509d

認証ID

HTTPポート番号 18080

STUNサーバを利用

キーアライブ確認間隔 (秒) 20

確認間隔は1~3600で設定してください

サーバアドレスは MotPhone のアドレス。
POPUP と MotPhone が同じ PC 内であれば
127.0.0.1 を設定

戻る 更新

5-5-3. MOT/TEL 設定 (POPUP 連動あり)

■ 概要

MOT/Phone Windows 版を MOT/TEL に直接接続しますが、POPUP クライアントと連動し履歴機能と電話帳機能を使用する事ができます。本機能は MOT/Phone version 6.4.5 以降で使用できます。

MOT/Phone が SIP サーバと直接通信しますので、PC 内部での通信負荷が軽減されます。MOT/Phone が主体で POPUP と連携しますが、ユーザはサーバ設定で MOT-POPUP を選択した時と同様に CTI ポップアップの表示、履歴機能、及び電話帳機能をそのまま使用することができます。

■ 設定方法

- (1) 設定画面を開きます。
- (2) 「アカウント設定」タブを選択します。
- (3) テナントコードに指定された MOT/TEL のテナントコードを入力し、NAT を有効にします。
- (4) サーバ設定の接続先設定を「手動設定 (Domain)」に変更し、IP アドレス欄に指定された MOT/TEL の IP アドレスを入力します。
- (5) SIP サーバのポート番号を入力します。
- (6) ポート設定の「クライアントポート」に 30000 + 内線番号を設定します。
- (7) ポップアップ連動設定は、初期値のまま ON にします。

設定項目の詳細は初期値を推奨しますが、各項目変更する場合は POPUP クライアントと設定を合わせる必要があります。詳細は以下の注意事項をご参照ください。

- (8) [OK]を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。

⇒ポップアップ連動設定を「ON」で設定することで、POPUP クライアントの連動機能が動作します。

■ 注意事項

手動設定 (POPUP 連動あり) にした場合、POPUP クライアント側の設定も変更する必要がありますのでご注意ください。

■ 手動設定 (POPUP 連動あり) 時の MOT/Phone 設定例

The screenshot shows the 'MOT/Phone Settings' window with the 'アカウント設定' (Account Settings) tab selected. The 'アカウント設定' section includes fields for '利用アカウント' (Account), 'クライアント設定' (Client Settings), and 'サーバ設定' (Server Settings). The 'クライアント設定' section includes '内線番号' (Extension Number), 'パスワード' (Password), 'サーバ登録周期' (Server Registration Cycle), 'パーク保留特番' (Park Hold Special Number), '留守電特番' (Voicemail Special Number), 'テナントコード' (Tenant Code), and 'NAT利用' (NAT Usage). The 'サーバ設定' section includes '接続先' (Destination), '手動設定 (Domain)' (Manual Setting (Domain)), and 'SIPポート' (SIP Port). The 'ポート設定' (Port Settings) section includes 'クライアントSIPポート' (Client SIP Port), 'RTPポート範囲' (RTP Port Range), and 'ポップアップ連動設定' (Popup Interaction Settings). The 'ポップアップ連動設定' section includes 'POPUPアドレス' (POPUP Address), 'POPUPポート' (POPUP Port), and 'キーブライブ確認間隔' (Key Press Confirmation Interval). The '手動設定 (Domain)' section includes '手動設定 (Domain)' (Manual Setting (Domain)) and 'SIPポート' (SIP Port). The 'クライアントSIPポート' field is highlighted with a red box and an arrow pointing to a callout box that says 'クライアント SIP ポートは、30000+内線番号を入力します。' (Client SIP Port is, enter 30000+ extension number). The 'テナントコード' field is highlighted with a red box and an arrow pointing to a callout box that says 'MOT/TEL のテナントコードを入力し、NAT 利用は有効にするにチェックを入れます。' (Enter the MOT/TEL tenant code, and check '有効にする' to enable NAT usage). The '手動設定 (Domain)' field is highlighted with a red box and an arrow pointing to a callout box that says '手動設定(Domain)を選択し、接続する MOT/TEL の IP アドレスと SIP ポート番号 (5060) を設定' (Select '手動設定(Domain)', and set the IP address and SIP port number (5060) of the MOT/TEL to connect to).

■ MOT/TEL 設定（POPUP 連携あり）時の POPUP クライアント設定例

【ポップアップ設定画面】

「一般」タブ

設定 (S)

一般 アカウント FAX機能

基本設定

表示言語 日本語

起動時にファームウェアの更新を確認する

デバッグログ出力

画面テーマ選択 ブルー

利用SIPポート 5080

運動電話機 ソフトフォン

電話帳の自動同期設定

共通電話帳をMOT/PBXと自動同期

クラウド電話帳をMOT/Cloudと自動同期

HTTPプロキシ設定

HTTPプロキシを利用

プロキシサーバ

ポート番号

ローカルアドレスにはプロキシを利用しない

着信情報ウィンドウ設定

ウィンドウ表示位置 中央

表示時

着信

通話

不在中の通知を消さない

通話した通知を消さない

着信先番号を表示

ポップアップ時に相手先番号をコピー

使用検索エンジン Google

外部連携先設定

連携先 MOT/Cloud

電話受付時動作

着信自局番号の情報を表示

ポップアップの代替機能として利用する

MOT/Phone 設定の「POPUP ポート」（推奨 5080）と一致させます。

ソフトフォンを選択

「アカウント」タブ

設定 (S)

一般 アカウント FAX機能

利用アカウント アカウント1 (316)

アカウント1 アカウント2

アカウント設定

内線番号 316

サーバアドレス 127.0.0.1

パスワード ●●●●●●

パスワードを保存

テナントコード 1000

サーバアドレス

SIPポート

認証ID

HTTPポート番号 18080

STUNサーバを利用

サーバアドレス確認

サーバアドレスは MOT/Phone のアドレス。POPUP と MotPhone が同じ PC 内であれば 127.0.0.1 を設定

テナントコードは MOT/Phone 設定の「テナントコード」と同じ。

戻る 更新

5-6. 発信/着信優先設定を行う

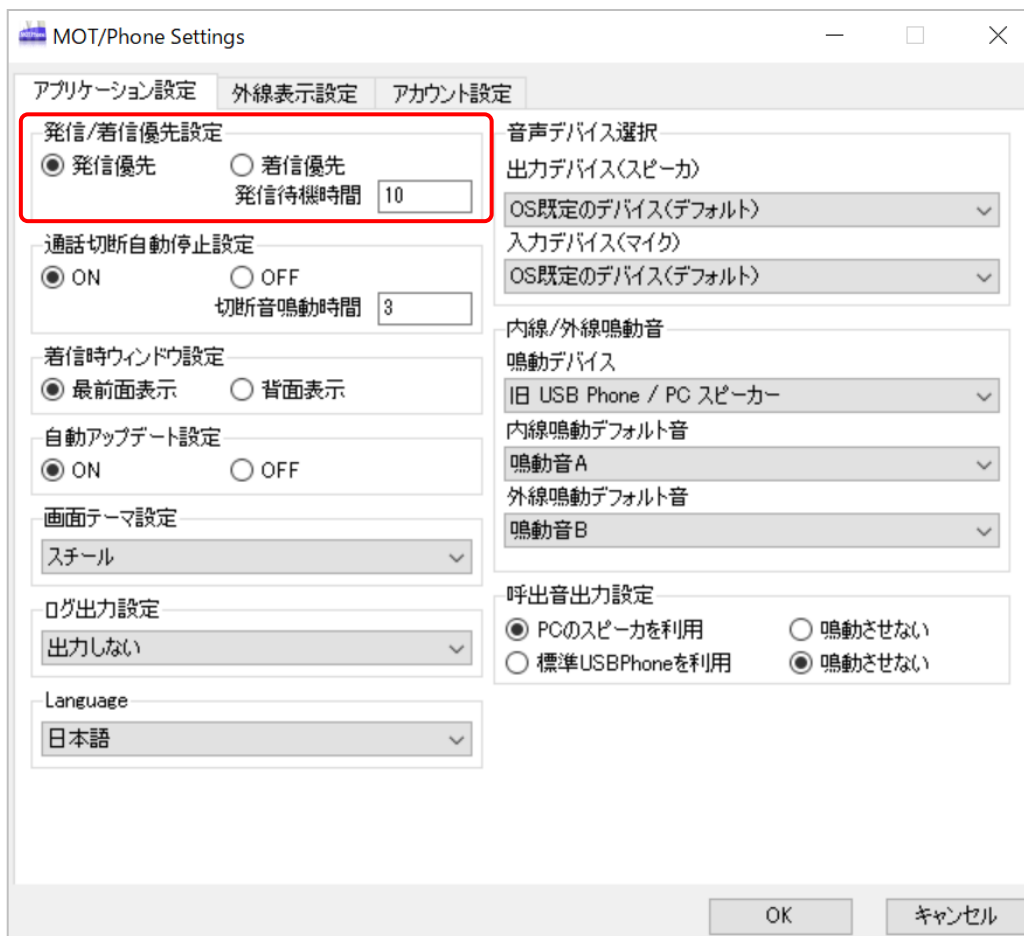
■ 概要

発信と着信の優先度を設定します。

発信優先にすると、番号入力中などに着信をブロックします。

■ 設定方法

- (1) 設定画面を開きます。
- (2) 「アプリケーション設定」タブを選択します。
- (3) 発信/着信優先設定を設定します。
 - ・発信優先 … 番号入力開始時から指定した時間の着信をブロックします。
 - ・着信優先 … 入力状態に関わらず着信時に鳴動します。
 - ・発信待機時間 … 発信優先設定時に着信をブロックする秒数（4～10 秒）を設定します。
- (4) [OK]を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。



■ 注意事項

- ・番号が何も入力されていない状態で入力を開始した場合のみ、発信待機を開始します。既に何らかの番号が入力されている状態で入力を開始しても発信待機は行われません。
- ・発信優先設定の場合、番号入力を開始してから設定した秒数が経過した際、その時点で既に着信している通話を受ける事はできません。

5-7. 通話切断音の時間を変更する

■ 概要

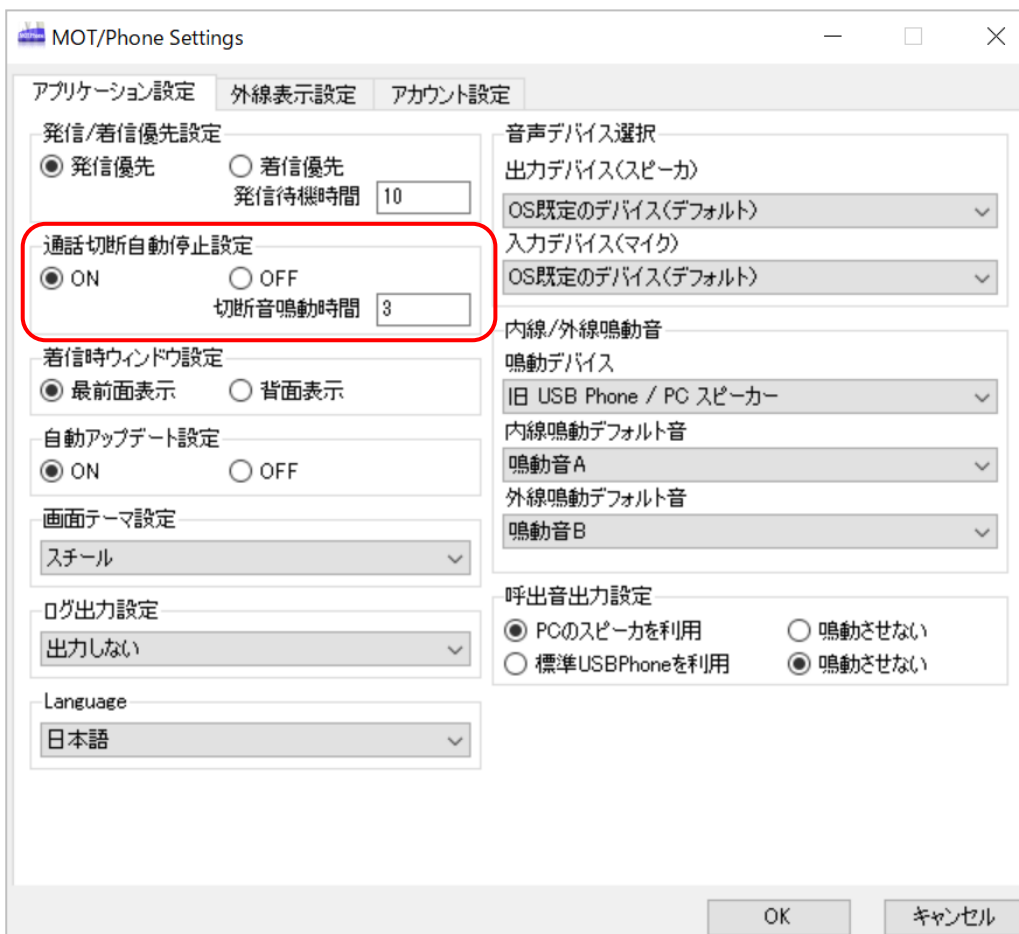
通話後に鳴動する切断音を自動で停止する時間を変更、もしくは切断ボタンを押してから停止するように変更する事が可能です。

OFF にした場合は手動で通話を切断する必要がございます。

初期値 ON の場合、切断音の鳴動が指定した秒数を経過後、電話を利用していない初期状態に戻ります。

■ 設定方法

- (1) 設定画面を開きます。
- (2) 「アプリケーション設定」タブを選択します。
- (3) 「通話切断音自動停止設定」内のラジオボタンで ON/OFF を設定します。
- (4) 設定を ON にした場合は、通話終了から自動切断されるまでの時間も設定します。
- (5) [OK]を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。



5-8. 着信時にディスプレイの最前面に表示する

■ 概要

着信時に MOT/Phone が自動的に前面に表示されるよう設定します。

「最前面表示」に設定すると、別ウィンドウの作業中にも最前面に電話画面が表示されます。

他の作業の邪魔にならないようにするためには、「背面表示」を選択します。



最前面への表示を選択すると着信と同時に入力していた数値や Enter キーの情報が MOT/Phone 側で識別され、予期せぬ番号への発信や応答につながる事がありますのでご注意ください。

■ 設定方法

- (1) 設定画面を開きます。
- (2) 「アプリケーション設定」タブを選択します。
- (3) 「着信時ウィンドウ設定」で「最前面表示」をチェックします。
- (4) [OK]を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。

MOT/Phone Settings

アプリケーション設定 外線表示設定 アカウント設定

発信/着信優先設定
 発信優先 着信優先
発信待機時間 10

通話切断自動停止設定
 ON OFF
切断音鳴動時間 3

着信時ウィンドウ設定
 最前面表示 背面表示

自動アップデート設定
 ON OFF

画面テーマ設定
スチール

ログ出力設定
出力しない

Language
日本語

音声デバイス選択
出力デバイス(スピーカ)
OS既定のデバイス(デフォルト)

入力デバイス(マイク)
OS既定のデバイス(デフォルト)

内線/外線鳴動音
鳴動デバイス
旧 USB Phone / PC スピーカー

内線鳴動デフォルト音
鳴動音 A

外線鳴動デフォルト音
鳴動音 B

呼出音出力設定
 PCのスピーカを利用 鳴動させない
 標準USBPhoneを利用 鳴動させない

OK キャンセル

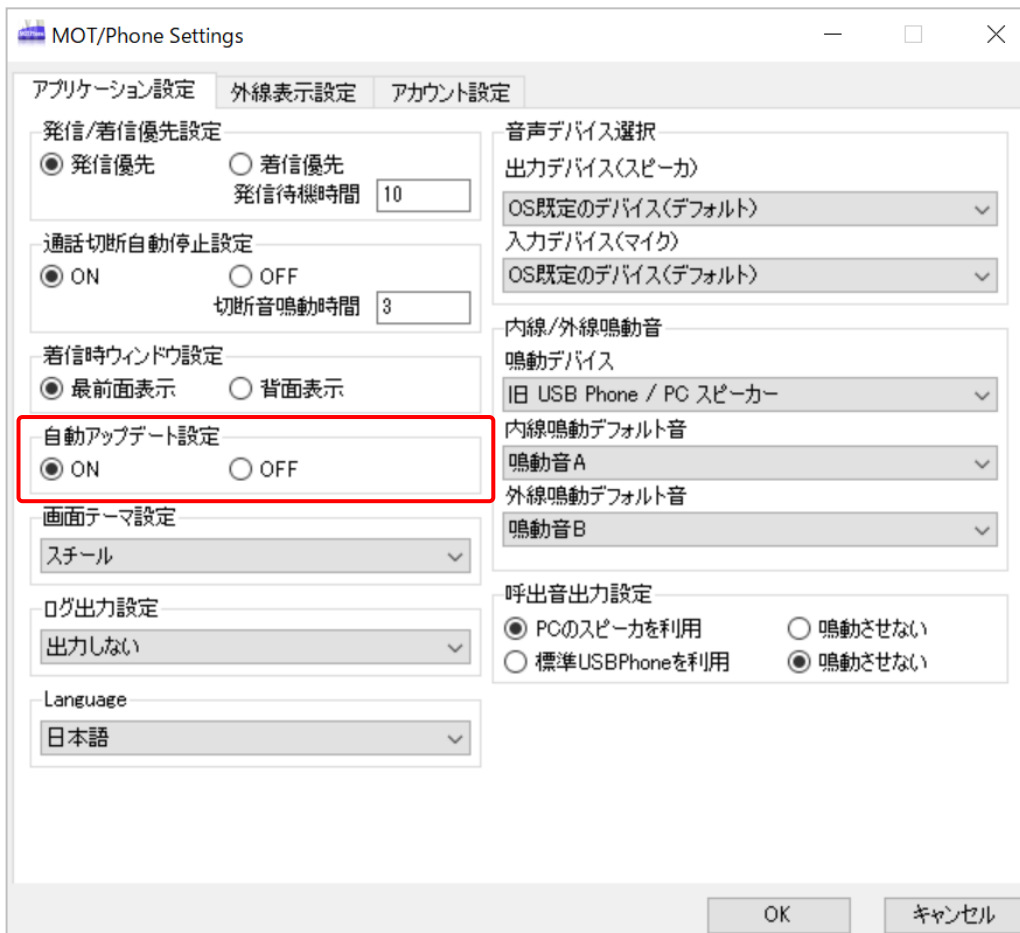
5-9. アプリの自動アップデートを有効にする

■ 概要

MOT/Phone 起動時にアップデートを確認し、最新版がダウンロードセンターに存在していた場合、自動的に最新バージョンをダウンロードする設定を行います。

■ 設定方法

- (1) 設定画面を開きます。
- (2) 「アプリケーション設定」タブを選択します。
- (3) 「自動アップデート設定」を「ON」に設定します。
- (4) [OK]を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。



USBPhone、USB ハンドセットを抜いた状態でアップデートを行う、またはアップデート後に USBPhone、USB ハンドセットの抜き差しを必ず行ってください。

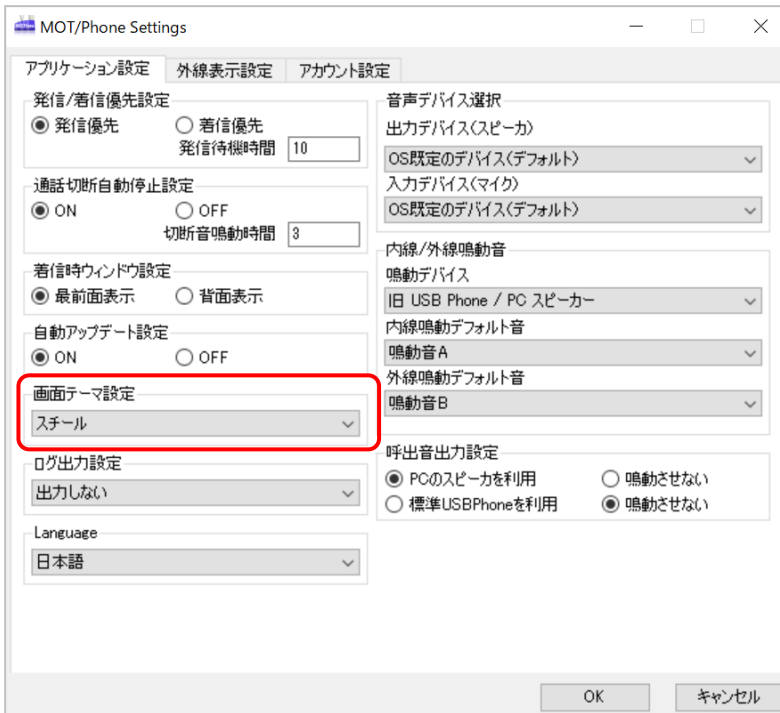
5-10. アプリの外観を変更する

■ 概要

MOT/Phone の外観を変更します。

■ 設定方法

- (1) 設定画面を開きます。
- (2) 「アプリケーション設定」タブを選択します。
- (3) 「画面テーマ設定」でお好みのテーマに設定します。
- (4) [OK]を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。



MOT/Phone Windows 版では、6 種類の画面テーマを提供しております。

【スチール】



【アンティーク】



【ブルー】 【ブルー大】



※解像度の高いPCの場合

【ブルー】では小さすぎる
ことがございます。

その場合は、サイズの大きい
【ブルー大】をご利用ください。

【ラブリーベア】



【クラシック】



5-11. 音声デバイス（USBPhone や PC スピーカー）設定を変更する

■ 概要

音声を出力するデバイス、音声を入力するデバイスをそれぞれ設定します。

通常は、「OS 既定のデバイス」を利用します。

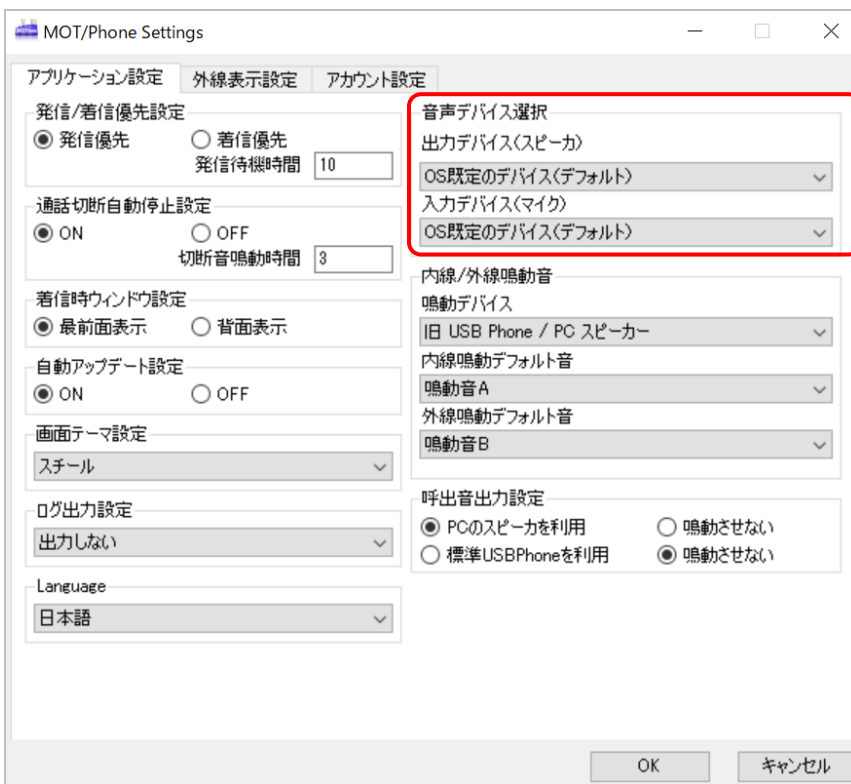
「OS 既定のデバイス（デフォルト）」に設定した場合、システムの設定に従います。

※スピーカーや旧 USBPhone を利用する場合にデバイスを変更します。

※USB ハンドセット（NYC-USB-HS）を接続時、「ハンドセット（USB HS）」が選択肢に出てきますが、通常通り「OS 既定のデバイス」をご利用ください。

■ 設定方法

- (1) 設定画面を開きます。
- (2) 「アプリケーション設定」タブを選択します。
- (3) 「音声デバイス選択」から出力デバイス、入力デバイスをそれぞれ選択します。
- (4) [OK]を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。



■ 注意事項

- ・ MOT/Phone 起動時に設定したデバイスが接続されていなかった場合、「OS 既定のデバイス（デフォルト）」が自動で選択されます。
- ・ USB デバイスを設定し、設定時にデバイスが接続されている USB 差込口と異なる場所に接続すると、デバイスを認識できません。
- ・ USB デバイスを接続する差込口を変更した場合、再設定を行う必要がございます。
- ・ 当社指定の USB デバイス 旧 USB Phone(Yealink USB-P8D)と新 USB Phone(HCU-201HT)、OS 既定のデバイス以外の音声デバイスにおける動作は保証の対象外となります。対象外の USB デバイスを選択した場合、指定したデバイスの抜差しにより通話音声聞こえなくなる場合がございますが、MOT/Phone を再起動することで復旧できます。

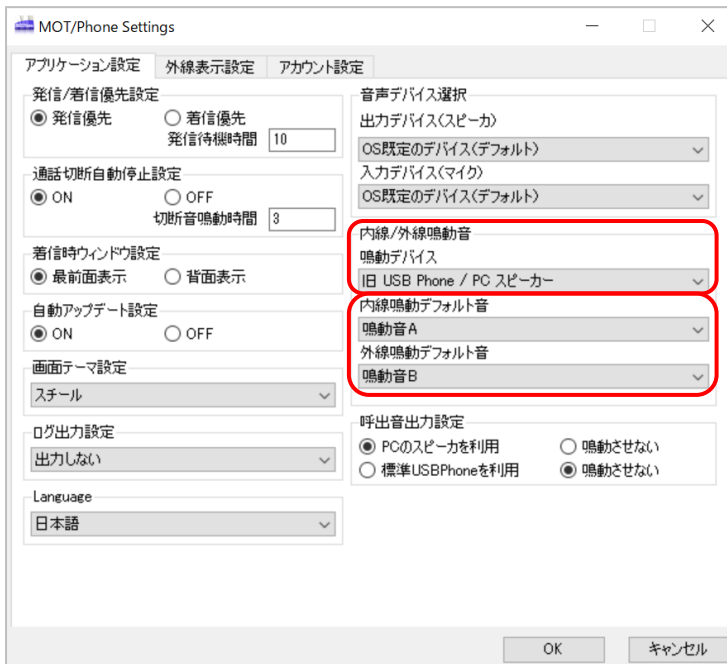
5-12. 内線/外線着信時の鳴動音を変更する

■ 概要

着信音を変更します。

■ 設定方法

- (1) 設定画面を開きます。
- (2) 「アプリケーション設定」タブを選択します。
- (3) 鳴動デバイスで「旧 USB Phone/PC スピーカー」を選択します。
- (4) 「内線鳴動デフォルト音」、「外線鳴動デフォルト音」をそれぞれ設定します。
- (5) [OK]を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。



■ 注意事項

- ・本設定はデフォルトの鳴動音を設定するものであり、この項目で設定された鳴動音よりも SIP サーバで設定された鳴動音やライン別鳴動音が優先されます。
- ・USB フォンから流れる鳴動音は以下のようになっております。(PCから鳴動する場合はメロディが流れます。)

鳴動音 A=標準の音

鳴動音 B=低めの鳴動音

鳴動音 C=鳴動音 B の音量が小さくなったもの

鳴動音 D=中程度の高さの音

鳴動音 E=鳴動音 D の音量が小さくなったもの

鳴動音 F=高めの音

鳴動音 G=鳴動音 F の音量が小さくなったもの (※鳴動音で一番小さく聞こえる。当社比較)

鳴動音 H=鳴動音 A の逆パターン

鳴動音 I=鳴動音 H の音量が小さくなったもの

鳴動音 J=ビジネスフォン風パターン 1

鳴動音 K=ビジネスフォン風パターン 2

鳴動音 L=ビジネスフォン風パターン 3

- ・USB ハンドセット (NYC-USB-HS) をご利用の場合は、USB ハンドセット端末の鳴動音を利用し、MOT/Phone アプリの鳴動音は利用しないため、内線・外線の鳴らし分けはご利用いただけません。

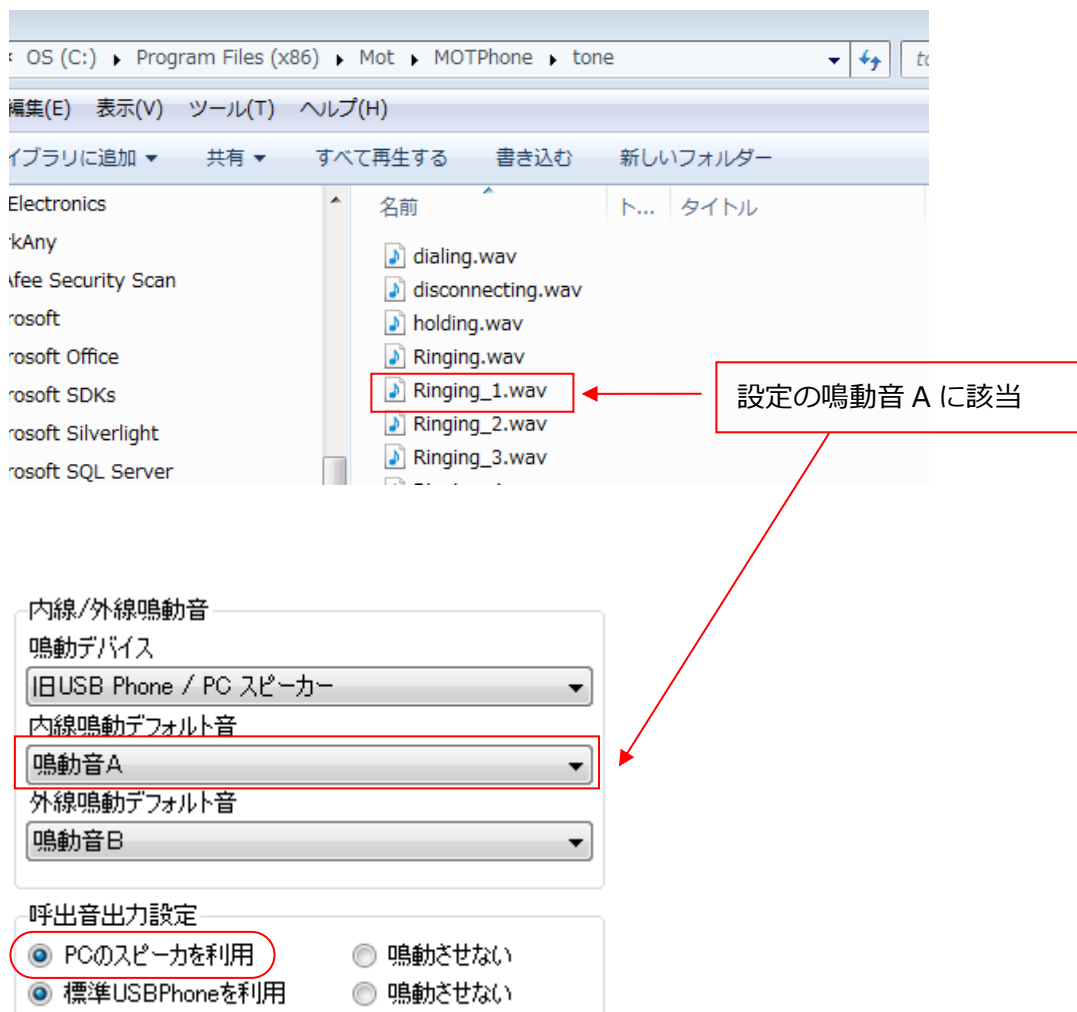
5-13. パソコン本体から流れる着信鳴動音を変える

■ 概要

前項にて PC から着信鳴動音を鳴らす場合、独自に鳴動するファイルを設定する事が出来ます。
鳴動する音声ファイル自体は独自のものを利用します。

■ 設定方法

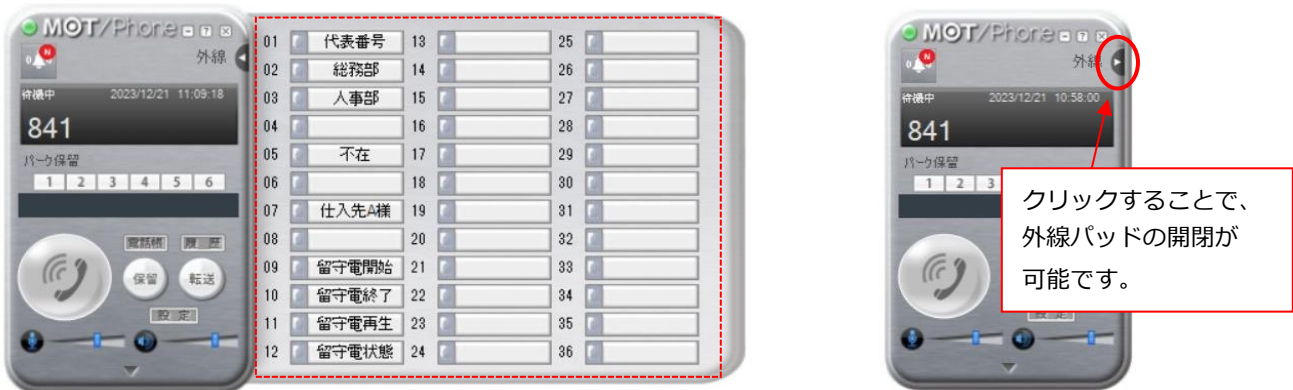
- ① エクスプローラを開いて MOT/Phone Windows 版がインストールされているフォルダへ移動します。
- ② エクスプローラを開いて、上部アドレスバーに「 **%PROGRAMFILES%** 」もしくは「 **%PROGRAMFILES(X86)%** 」を入力して表示されるフォルダ一覧より「 Mot 」 「 MOTPhone 」 「 tone 」の順で移動します。
- ③ 以下 tone フォルダ内に Ringing_1.wav ~ Ringing_12.wav のファイルがありますのでそれを差し替えます。
設定画面の鳴動音 A~L がそれぞれ上記 1~12 に該当しますので必要なファイルを変更します。



5-14. 外線パッドの設定を行う

■ 概要

外線パッドには、設定>「外線表示設定」タブで設定したラインボタンやワンタッチなどのボタン割り付けが行えます。



■ 使用方法

外線パッドのボタン数は、画面テーマによって異なります。

■ 画面テーマ設定「スチール」、「ブルー」：36個



■ 画面テーマ設定「アンティーク」、「ラブリーベア」、「クラシック」：6個

※「外線表示設定」タブのラインボタン設定で登録した、1～6までを表示します。

※ライン別鳴動音設定7～24のライン番号については、鳴動音のみご利用いただけます。

※外線パッドのボタンに、ライン名称は表示できません。



5-14-1. 外線着信時に、外線パッドを自動的に表示する

■ 概要

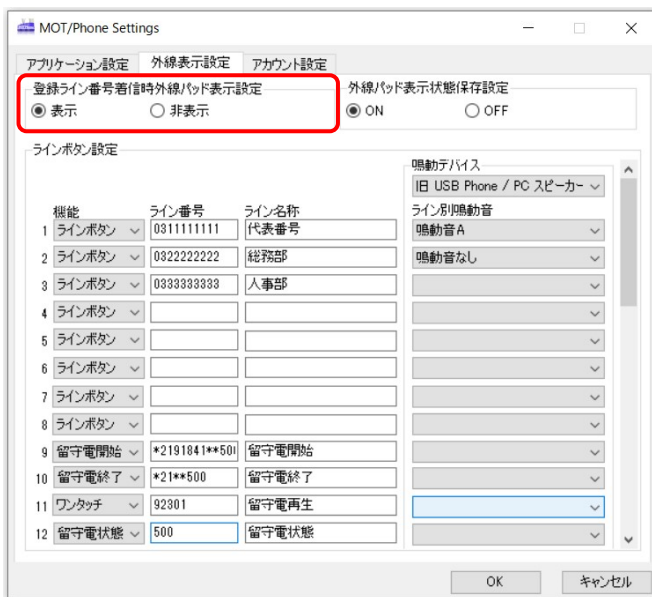
「登録ライン番号着信時外線パッド表示設定」では、外線パッドに「ラインボタン」で登録した自局番号宛てに着信した場合、外線パッドが自動的に開くかどうかの設定が可能です。

※本機能を利用するには、外線パッドに「ラインボタン」の割り付けが必要です。

詳細は、「[外線パッドに「ラインボタン」の割り付けを行う](#)」ページをご参照ください。

■ 設定方法

- (1) 設定画面を開きます。
- (2) 「外線表示設定」タブを選択します。
- (3) 「登録ライン番号着信時外線パッド表示設定」で「表示」/「非表示」どちらかを選択します。
「表示」を選択すると、外線パッドに登録済の番号から着信した際に、自動的に外線パッドが開きます。
- (4) [OK]を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。



■ 使用方法

「登録ライン番号着信時外線パッド表示設定」で「表示」を選択した場合、以下の動作になります。

【着信動作】

「ラインボタン」で登録した自局番号宛てに着信があると、外線パッドが自動で開き、着信した番号のラインボタンが点滅します。



5-14-2. 起動時の外線パッドの開閉状態を設定する

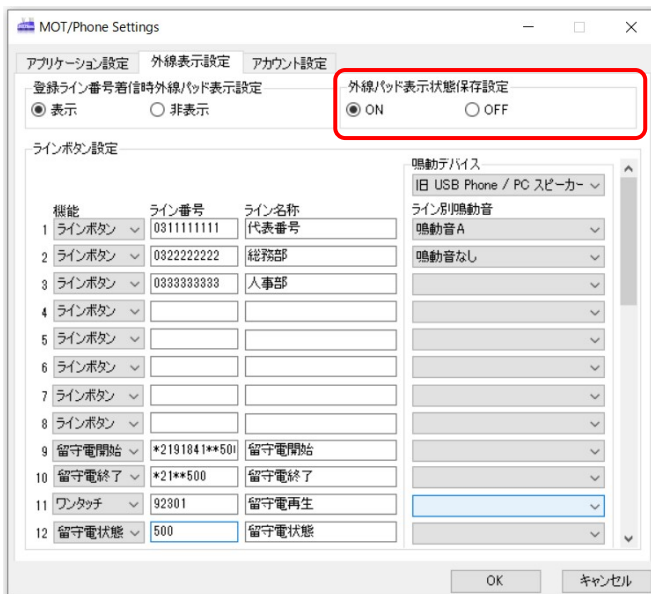
■ 概要

外線パッドを開いた状態で MOT/Phone Windows 版を終了した場合、次に起動した際に外線パッドが開いた状態で起動する設定が可能です。

終了時の外線パッドの状態を引き継ぐかどうかの設定を行ってください。

■ 設定方法

- (1) 設定画面を開きます。
- (2) 「外線表示設定」タブを選択します。
- (3) 「外線パッド表示状態保存設定」で「ON」/「OFF」どちらかを選択します。
「ON」を選択すると、MOT/Phone Windows 版終了時の外線パッドの状態を保存し、次に起動した際、同じ状態で開くことができます。
- (4) [OK]を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。



■ 使用方法

「外線パッド表示状態保存設定」で「ON」を選択した場合、以下の動作になります。

【Windows 版 MOT/Phone 起動】

MOT/Phone Windows 版終了時の外線パッドの状態で、起動します。

例えば、外線パッドが開いた状態で MOT/Phone Windows 版を終了した場合、次に起動する際は、外線パッドが開いた状態で起動します。

<終了時>



<次の起動時>



終了時の状態を表示

5-14-3. 外線パッドに「ラインボタン」の割り付けを行う

■概要

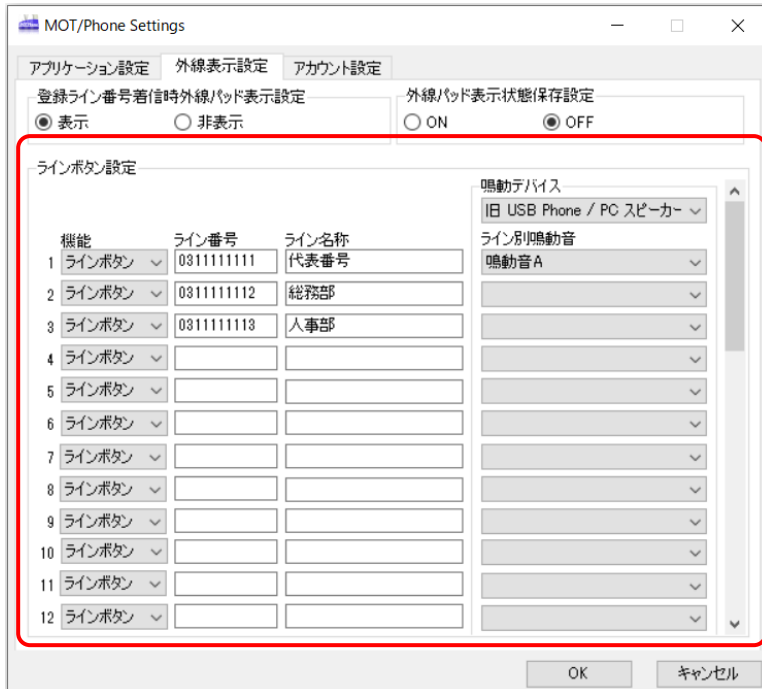
自局番号をラインボタンに割り付けると、以下のような使い方が可能です。

- ・発信する際は、相手に発信する番号を割り付けたラインボタンを押下して発信することで、押下したボタンに割り付けた番号を相手に発信することができます。
- ・着信時は、着信した自局番号を割り付けたラインボタンが点滅し、指定した鳴動音を鳴らすことができます。

■設定方法

- (1) 設定画面を開きます。
- (2) 「外線表示設定」タブを選択します。
- (3) 「ラインボタン設定」欄を編集します。

項目名称	機能説明
機能	「 ラインボタン 」を選択します。
ライン番号	発信時は「相手に発信する番号」、着信時は「着信した番号のランプ点滅先」として利用する自局番号を設定します。 ※PBX に收容されている外線番号であれば、MOT/Phone の内線に着信する外線番号として設定している外線番号以外も、ライン番号に登録し、発信番号として選択することができます。
ライン名称	外線パッドに表示する名称を設定します。 <u>空の場合はライン番号を表示します。</u> ※" ' & の記号は利用できません。
ライン別鳴動音	ライン番号に指定する鳴動音は、MOT/Phone の「設定」→「アプリケーション設定」タブ→「内線/外線鳴動音」→「外線鳴動デフォルト音」より優先されます。



※USB ハンドセット NYC-USB-HS をご利用の場合、1 と 2 に登録したラインボタンが、[F1] と [F2] ボタンに反映します。3 以降の登録は NYC-USB-HS に反映しません。
ただし、登録した自局番号に着信した際、[F1] [F2] ボタンのランプは点灯しません。
また、USB ハンドセットご利用時は、「ライン別鳴動音」はご利用いただけません。

- (4) [OK]を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。

※ライン別鳴動音が未設定の場合は外線鳴動デフォルト音に設定されている鳴動音が流れます。
 ライン別鳴動音が未設定、外線鳴動デフォルト音が削除等でエラーの場合はデフォルト着信音が流れます。



■使用方法

【着信動作】

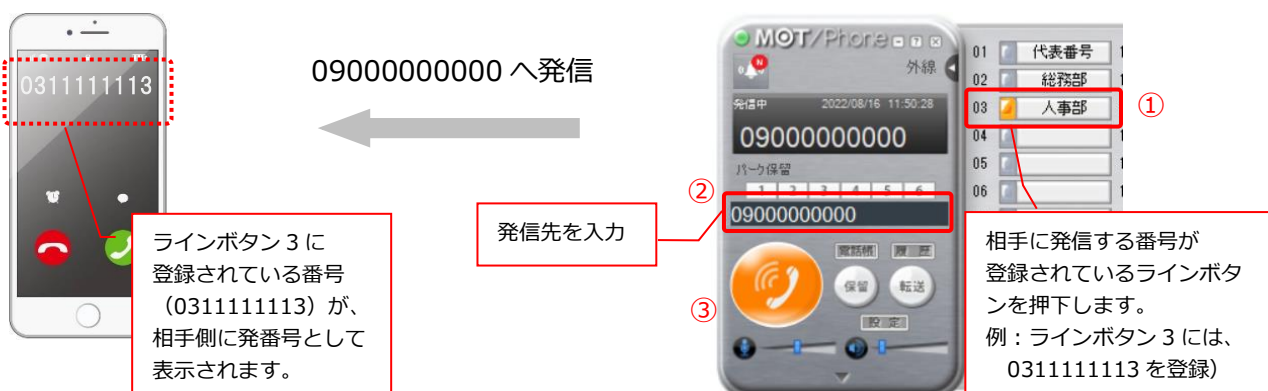
ライン番号に設定した番号宛に着信があると、対応したラインボタンが点滅します。
 また、ライン別鳴動音を設定している場合は、設定した鳴動音が鳴ります。



MOT/Phone のラインボタンは、他の電話機やソフトフォンで利用している状態と連動してラインボタンが点灯する機能はございません。あくまで自身への着信の際のみ点灯します。

【発信動作】

- ①相手に発信する番号が登録されているラインボタンを押下する。
 - ②発信先を入力する。
 - ③発信ボタンを押下し、発信する。
- ラインボタンに登録している自局番号を相手に発番します。



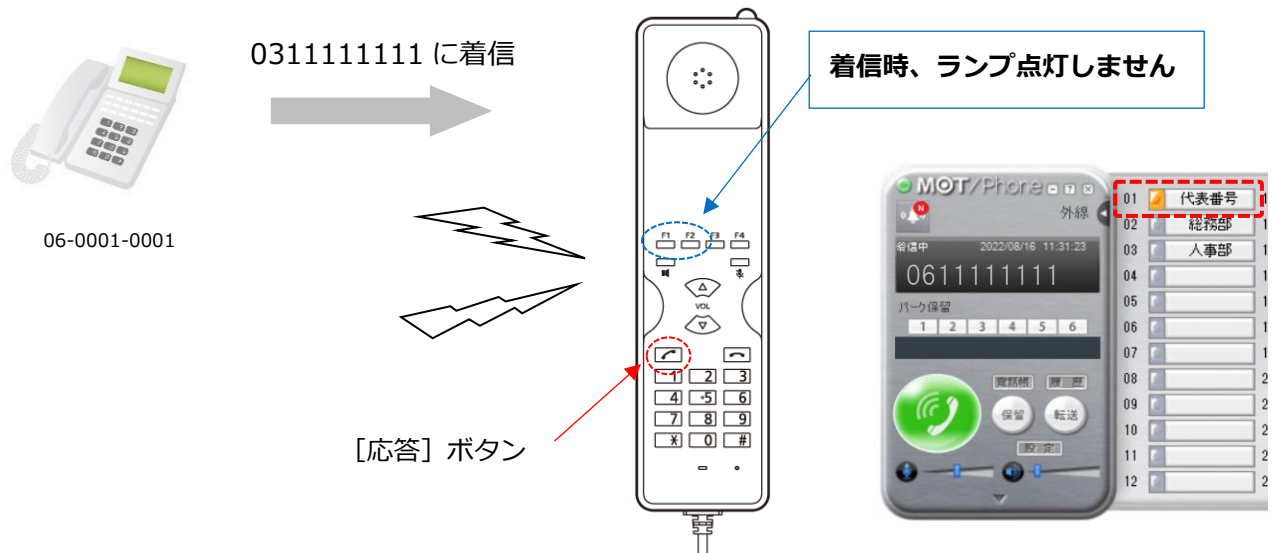
■ USB ハンドセット [NYC-USB-HS] での使用方法

【着信動作】

ライン番号に自局番号を登録しても、該当の自局番号宛に着信があった場合、USB ハンドセットの [F1]、または [F2] ボタンはランプが点灯しません。

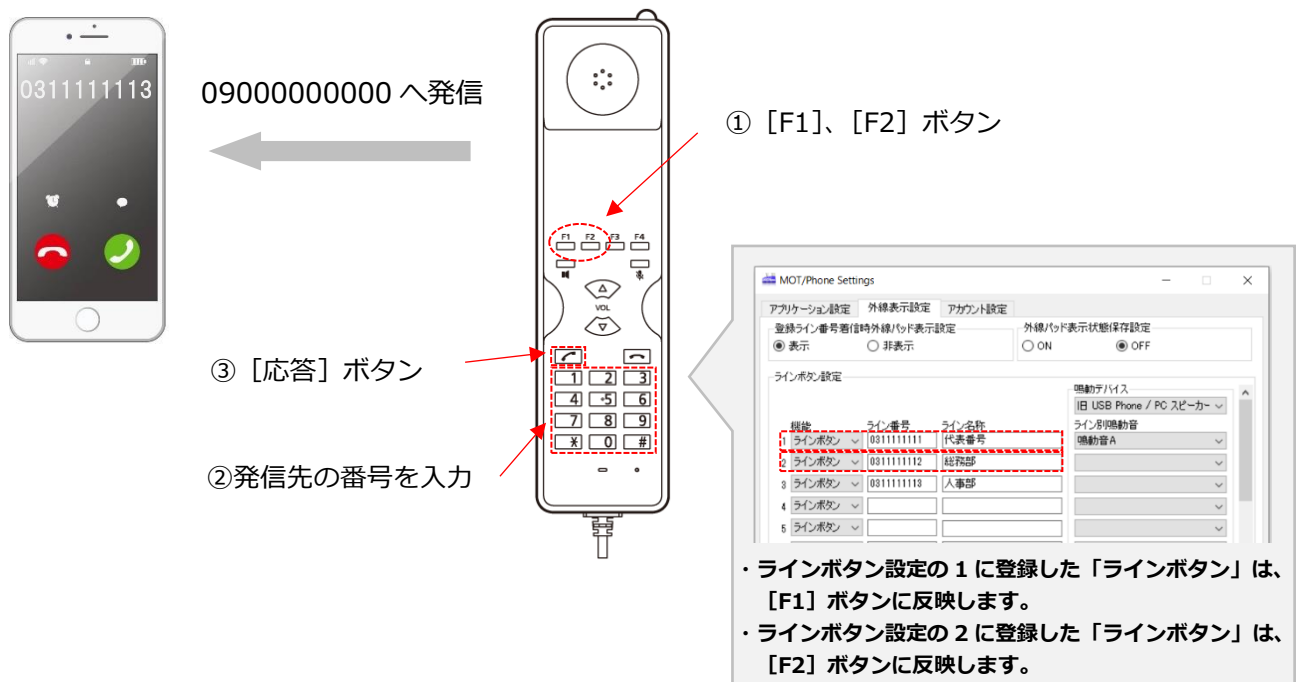
※MOT/Phone の対応したラインボタンは、通常通り点滅します。

USB ハンドセットの [応答] ボタンを押下することで、通常通り電話に応答することは可能です。



【発信動作】

- ① 相手に発信する番号が登録されている [F1] か [F2] ボタンを押下すると、ランプが点灯。
 - ② 発信先を入力する。
 - ③ [応答] ボタンを押下し、発信する。
- ラインボタンに登録している自局番号を相手に発番します。



5-14-4. 外線パッドに「留守番電話機能」の割り付けを行う

■ 概要

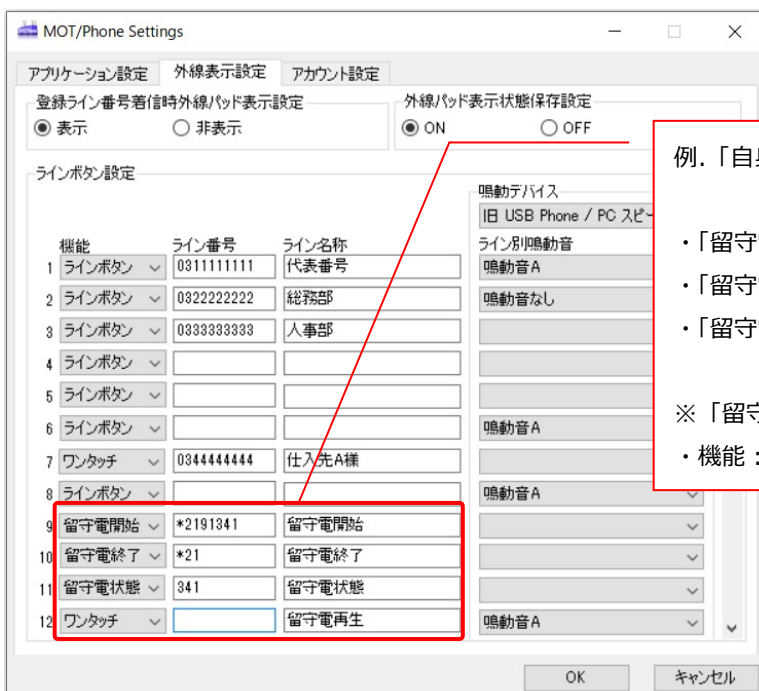
外線パッドのラインボタンに「留守電開始」、「留守電終了」、「留守電状態」、「留守電再生」の機能を割り当てることができます。

- (1) 設定画面を開きます。
- (2) 「外線表示設定」タブを選択します。
- (3) 「ラインボタン設定」欄を編集します。

※「鳴動デバイス」「ライン別鳴動音」は、設定対象外の項目です。

項目名称	機能説明
機能	「機能」では、リストから機能を選択します。
ライン番号	<p>「ライン番号」には、留守電機能用の番号を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機能：「留守電開始」を選択します。 ライン番号：留守電開始用番号（*2191）注1 + 「自身の内線番号」が自動で設定されます。 ・機能：「留守電終了」を選択します。 ライン番号：留守電終了用番号（*21）注2が自動で設定されます。 ・機能：「留守電状態」を選択します。 ライン番号：「自身の内線番号」が自動で設定されます。 <p>※ご利用の運用（グループ着信、マルチライン着信）に合わせ、<u>自動で設定される番号に対して追加・修正を行い、正しく動作するように番号を設定してください。</u> グループ着信、マルチライン着信の設定例は次ページをご参照ください。</p> <p>※「留守電再生」は機能にないため、「留守電再生」ボタンは以下のように作成してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機能：「ワンタッチ」を選択します。 ライン番号：留守電再生用番号（92）注3 + 留守電メッセージの保存先として設定している内線番号を入力
ライン名称	外線パッドに表示する名称を設定します。 <u>空の場合はライン番号を表示します。</u>

注1、注2、注3：お客様先の設定によって、自動設定の番号が異なる場合がございます(MOT/TELの場合は、別番号です)。



例、「自身の内線番号」が「341」の場合の自動設定

- ・「留守電開始」を選択：「*2191341」が自動で設定
- ・「留守電終了」を選択：「*21」が自動で設定
- ・「留守電状態」を選択：「341」が自動で設定

※「留守番再生」ボタンの作成

- ・機能：「ワンタッチ」を選択：自動設定なし（空欄）

※運用に合わせて、自動で設定される番号に対して、追加・修正を行ってください（次ページ参照）。

■設定画面

<グループ着信 設定例>

機能	ライン番号	ライン名称
1 ラインボタン	0311111111	代表番号
2 ラインボタン	0322222222	総務部
3 ラインボタン	0333333333	人事部
4 ラインボタン		
5 ラインボタン		
6 ラインボタン		
7 ワンタッチ	0344444444	仕入先A様
8 ラインボタン		
9 留守電開始	*2191301**501	留守電開始
10 留守電終了	*21**500	留守電終了
11 留守電状態	500	留守電状態
12 ワンタッチ	92301	留守電再生

例、「自身の内線番号」が「341」、
グループ着信番号「500」、
留守電メッセージの保存先「301」の場合、
以下のように設定します。

自動で設定されている内容以外の追加や修正を行う箇所は、
色付けしている部分です。

- ・留守電開始：「*2191341」→「*2191301**500」
- ・留守電終了：「*21」→「*21**500」
- ・留守電状態：「341」→「500」
- ・留守電再生：「92301」

<マルチライン着信 設定例>

機能	ライン番号	ライン名称
1 ラインボタン	0311111111	代表番号
2 ラインボタン	0322222222	総務部
3 ラインボタン	0333333333	人事部
4 ラインボタン		
5 ラインボタン		
6 ラインボタン		
7 ワンタッチ	0344444444	仕入先A様
8 ラインボタン		
9 留守電開始	*2191301**951	留守電開始
10 留守電終了	*21**9501	留守電終了
11 留守電状態	9501	留守電状態
12 ワンタッチ	92301	留守電再生

例、「自身の内線番号」が「341」、
ラインキー番号「9501」、
留守電メッセージの保存先「301」の場合
以下のように設定します。

自動で設定されている内容以外の追加や修正を行う箇所は、
色付けしている部分です。

- ・留守電開始：「*2191341」→「*2191301**9501」
- ・留守電終了：「*21**9501」
- ・留守電状態：「341」→「9501」
- ・留守電再生：「92301」

(4) 設定後、[OK]を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。

■注意事項

- ・留守電機能は、画面テーマ設定「スチール」、「ブルー」でのみ機能します。
※「アンティーク」、「ラブリーベア」、「クラシック」では、ラインボタン機能となります。

■使用方法

(1) 留守電を開始する。

- (1-1) 外線パッド上の「留守電開始」ボタンを押下します。
- (1-2) 留守電開始用の番号へ発信され、自動的に切断されます。
- (1-3) 外線パッド上の「留守電状態」ボタンが点灯（緑）します。

※留守電メッセージがある場合は「留守電再生」ボタンが点滅（緑）します。



(2) 留守電を終了する

- (2-1) 外線パッド上の「留守電終了」ボタンを押下します。
- (2-2) 留守電終了用の番号へ発信され、自動的に切断されます。
- (2-3) 外線パッド上の「留守電状態」ボタンが消灯します。

※留守電メッセージがある場合は「留守電再生」ボタンが点滅（緑）



(3) 留守電メッセージを再生する

(3-1) 外線パッド上の「留守電再生」ボタンを押下します。

(3-2) 留守電再生用の番号へ発信され、留守電メッセージの有無を確認できます。

(3-3) 留守電メッセージ確認後、通話を切断します。



- ・ PBX と同一のローカル環境（ 設定> [アカウント設定](#) > 手動設定 IP にローカル IP を設定 ）で利用している場合に限り、「留守電状態」のボタンが光ります。
- ・ 留守電開始/終了をすると、同じボタンの設定をしている他端末も同様に、「留守電状態」ボタンが点灯/消灯します（同じグループ着信の端末であることが条件です）。
- ・ 「留守電状態」ボタンが光る動作をご利用の場合は、留守電機能を利用する内線番号と

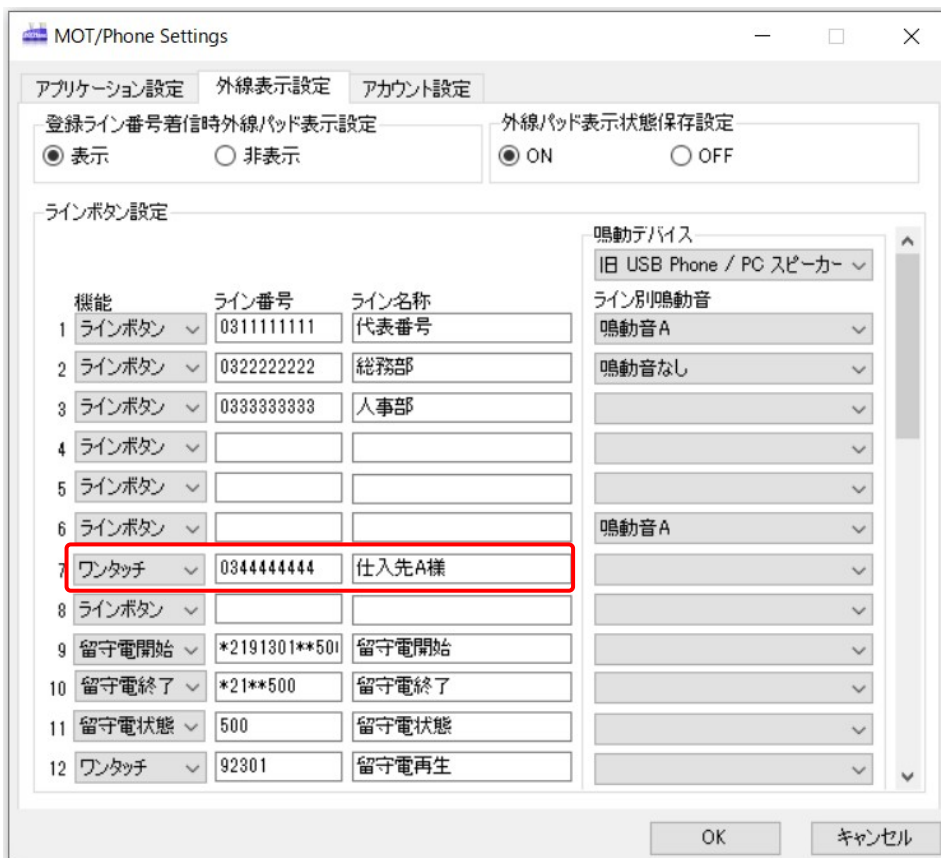
5-14-5. 外線パッドに「ワンタッチダイヤル」ボタンの割り付けを行う

■概要

外線パッドのラインボタンに「ワンタッチダイヤル」の機能を割り当てることができます。よく連絡をする連絡先を登録しておくことで、「ワンタッチ」ボタンを押すだけで簡単に電話をかけることができます。

- (1) 設定画面を開きます。
- (2) 「外線表示設定」タブを選択します。
- (3) 「ラインボタン設定」欄を編集します。
※「鳴動デバイス」「ライン別鳴動音」は、設定対象外の項目です。

項目名称	機能説明
機能	リストから「ワンタッチ」を選択します。
ライン番号	ワンタッチに登録する相手先の番号を設定します。
ライン名称	外線パッドのボタンに表示する名称を設定します。 ※外線パッドには5文字ほどしか表示されないため、それを踏まえたうえで、わかりやすい名称を設定することをお勧めいたします。 ※空の場合はライン番号を表示します。



※USBハンドセット NYC-USB-HS をご利用の場合、1 と 2 に登録したワンタッチが、[F1] と [F2] ボタンに反映します。3 以降の登録は NYC-USB-HS に反映しません。

- (4) [OK]を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。

■ 注意事項

- ・ワンタッチダイヤル機能は、画面テーマ設定：「スチール」、「ブルー」でのみ機能します。「アンティーク」、「ラブリーベア」、「クラシック」では、ラインボタン機能となります。

■ 使用方法

(1) ワンタッチダイヤルを利用する。

(1-1) 外線パッド上で、機能「ワンタッチ」で設定したボタンを押下します。

(1-2) 押下した「ワンタッチ」ボタンが点灯し、「ワンタッチ」ボタンに設定した番号へ発信を開始します。

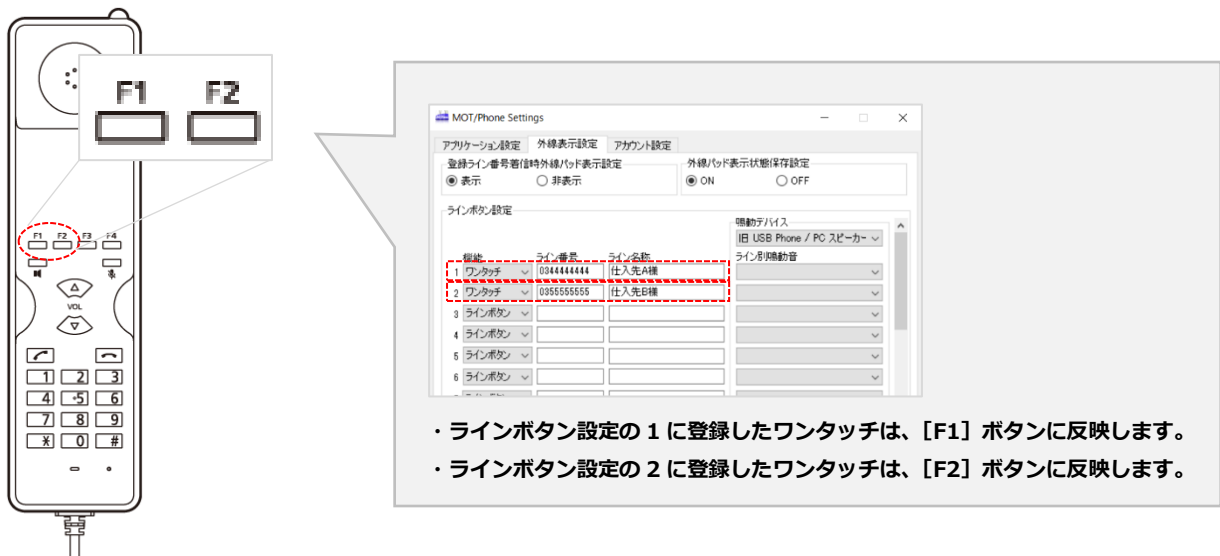


■ USB ハンドセット [NYC-USB-HS] での使用方法

(1) USB ハンドセットでワンタッチダイヤルを利用する。

(1-1) 外線パッド上で、機能「ワンタッチ」で設定した [F1] か [F2] ボタンを押下します。

(1-2) 押下したボタンが点灯し、[F1] か [F2] ボタンに設定した番号へ発信を開始します。



5-14-6. 外線パッドに「着信拒否」ボタンの割り付けを行う

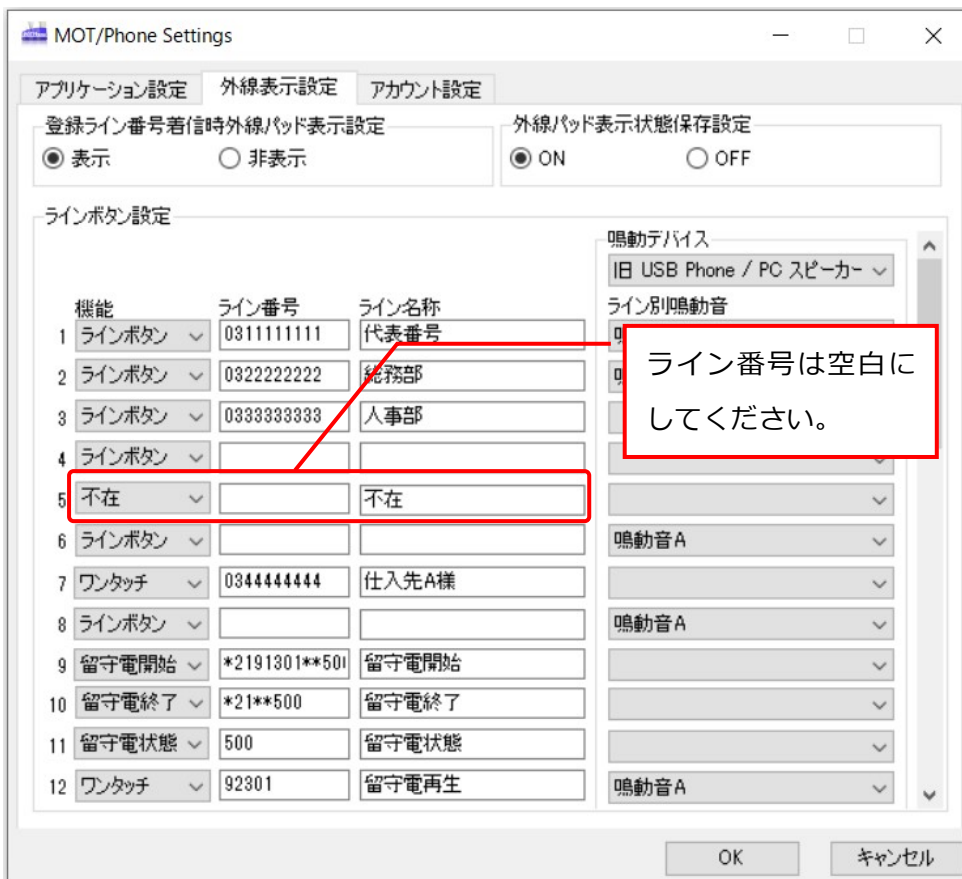
■概要

外線パッドのラインボタンに「不在着信拒否」の機能を割り当てることができます。
「不在」ボタンを押すだけで、簡単に着信拒否の状態に設定することができます。
離席する際などにご利用ください。

- (1) 設定画面を開きます。
- (2) 「外線表示設定」タブを選択します。
- (3) 「ラインボタン設定」欄を編集します。

※「鳴動デバイス」「ライン別鳴動音」は、設定対象外の項目です。

項目名称	機能説明
機能	リストから「不在」を選択します。
ライン番号	ライン番号は使用しません。 ライン番号欄には、入力しないでください。
ライン名称	機能で「不在」を選択すると、自動で「不在」が設定されます。 必要に応じて、変更してください。



- (4) [OK]を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。

■ 注意事項

- ・ワンタッチダイヤル機能は、画面テーマ設定：「スチール」、「ブルー」でのみ機能します。「アンティーク」、「ラブリーベア」、「クラシック」では、ラインボタン機能となります。

■ 使用方法

(1) 不在着信拒否機能を開始する。

(1-1) 外線パッド上で、機能「不在」を設定したボタンを押下します。

(1-2) 押下したボタンが点灯し、不在着信拒否機能が適用されます。

不在ボタンが点灯中は、該当の内線番号宛の着信は、全て拒否します。



※不在ボタンをライン上に複数設定することができますが、不在着信拒否機能として動作するのは1つだけです。

(2) 不在着信拒否機能を終了する。

(2-1) 外線パッド上の機能「不在」を設定した点灯中のボタンを再度押下します。

(2-2) ボタンを押下すると、点灯中が消灯し、不在着信拒否機能が終了します。

不在着信拒否機能が終了すると、該当の内線番号宛の着信を受け付ける通常の状態に戻ります。



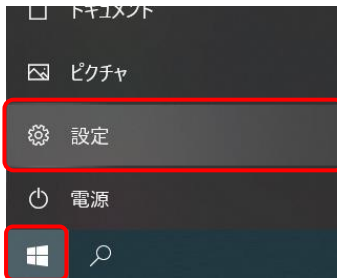
5-15. USBPhone の電源が切れる場合、Windows の電源オプションで設定する

■ 概要

Windows10 で USB Phone を利用する際に、電源が自動的に切れてしまう場合は、以下の操作を行うことで、問題が解消する場合がございます。

■ 設定方法概要

① 「スタート」の「設定」をクリックします。



② 「システム」を開きます。



③ 「電源とスリープ」をクリックし、関連設定にある「電源の追加設定」をクリックします。



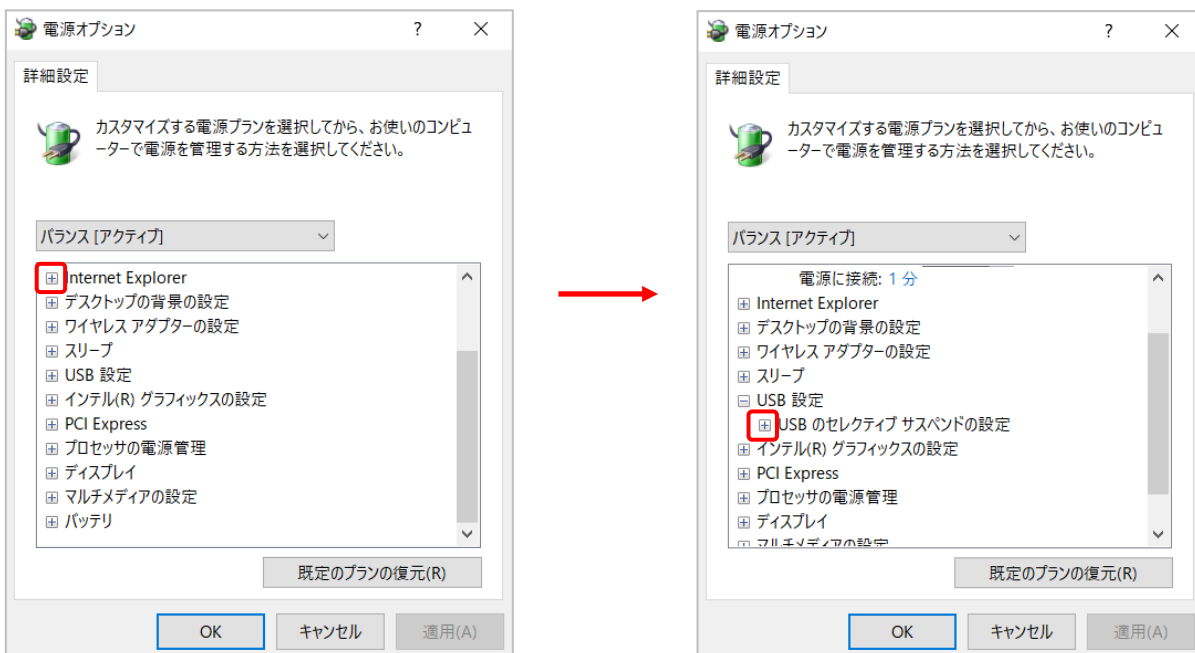
④ 表示される「電源オプション」画面で、「プラン設定の変更」をクリックします。



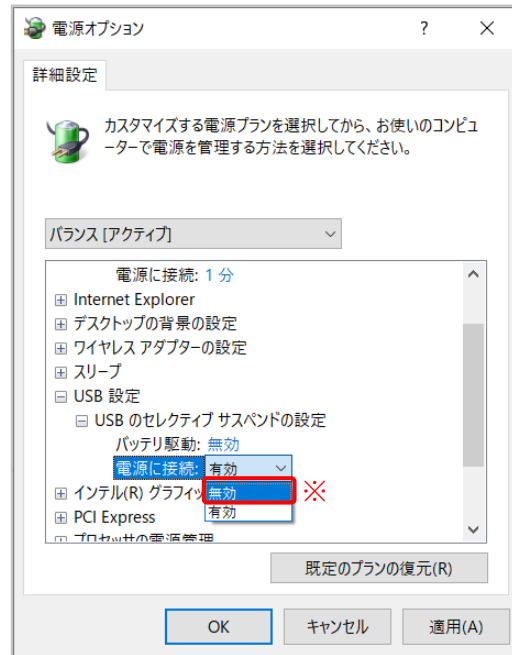
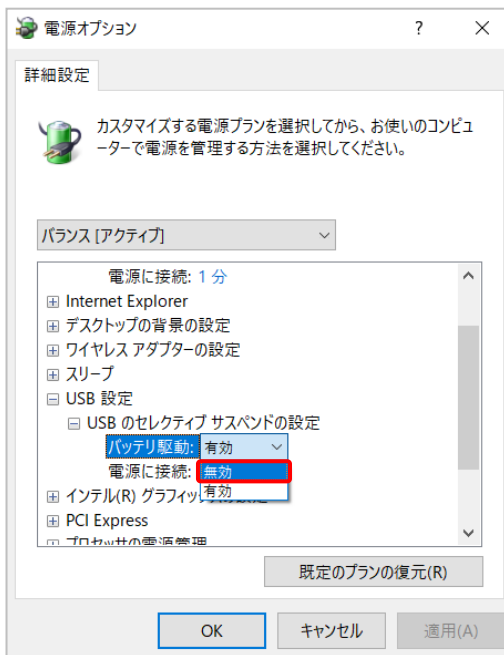
⑤ 表示される「プラン設定の編集」画面で、「詳細な電源設定の変更」をクリックします。



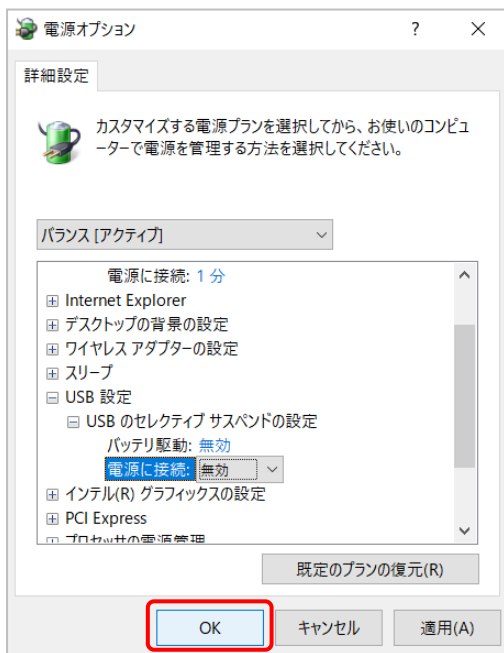
⑥ 表示される「電源オプション」画面で、「USB 設定」の「+」をクリックし、下に表示される「USB のセレクトティブサスペンドの設定」の「+」をクリックします。



- ⑦ 下に表示される「**バッテリー駆動**」の「**有効**」を「**無効**」にします。
 ※**バッテリー駆動時のみ USB 機器の電源を自動的に切りたい場合は、**
 その下の「**電源に接続**」の「**有効**」も「**無効**」にします。



- ⑧ 設定後、**[OK]**をクリックします。



以上で設定は終了です。

一定時間が経過しても、USB Phone の電源が自動的に切れないかご確認ください。

6.仕様

■ ソフトフォン動作環境

項目	機能説明
対応OS	Windows 10、Windows 11
推奨スペック	プロセッサ：1.5GHz 以上 RAM：8GB 以上
端末	■ USB Phone 端末 ・ VALTEC 製：HCU-205HT（以下、HCU-205HT という） ・ Plantronics 製：Calisto P240（以下、Calisto P240 という） ・ ナカヨ製：NYC-USB-HS（以下、NYC-USB-HS という） ■ ヘッドセット端末 ・ 長塚電話工業所製：EN-L(CG)-ND76
接続先	MOT/Phone POP-UP 経由の MOT/PBX、MOT/PBX、MOT/TEL サーバへの直接接続
その他	Microsoft .NET Framework 4.5 以上がインストールされている事。 Visual Studio Visual C++ 2013、Visual Studio Visual C++ 2015-2022 がインストールされている事。 ※インストールされていない場合は、インストール要求が出力されます。

■ 提供機能

項目名称	機能説明
内線発着信	MOT/PBX、MOT/TEL の設定により、内外線通話ができます。
自己保留	一旦通話を保留状態にします。
保留転送	自己保留時に、ダイヤルした番号へ通話転送します。
パーク保留	パーク保留ボタンに通話を保留する事ができます。
音量調整	送受話音量を調整する事が出来ます。 ※事前に Windows 本体の音量とマイクを有効にして通話が聞こえる状態にご調整ください。
発番号選択	発信する際に発番号を選択する事ができます。
USB Phone 連携	・ HCU-205HT、HCU-205HT-r2-BK ・ Calisto P240 から操作を行う事ができます。

■ USBPhone [Calisto P240]仕様

項目名称	機能説明	
製造メーカー	Plantronics	
名称・型番	機器名	Calisto
	型番	P240
RoHS 対応	RoHS 対応	
その他準拠	FCC、CE 対応	
表示機能	年月日時刻分曜日を常時表示 「ステータス」、「ダイヤル番号」表示に対応	
スピーカー対応	本体ボタン操作による背面スピーカーの利用が可能 集音半径 1.2m 推奨	
ミュート機能	本体ボタン操作によるマイクミュートに対応	
音量調整	本体ボタン操作による音量の調整が可能	
エコキャンセラ	有、ノイズ抑制機能有	
着信鳴動音量	鳴動音レベルを変更可能（Windows 音量から変更） ※内外線毎に設定可能	
接続可能 OS	Windows 10、Windows 11 要ドライバインストール	
本体寸法	145mm(L)×47mm(W)×15mm(H)	
ケーブルの長さ	1.5m	
本体重量	100g	

■ USBPhone [HCU-205HT/ HCU-205HT-r2-BK]仕様

項目名称	機能説明
商品名	USB VOIP Phone
型番	・ HCU-205HT（白色） ・ HCU-205HT-r2-BK（黒色） ※ディスプレイはありません。
本体寸法	50mm(W)×140mm(H) ×15mm(D)
本体重量	110g
ケーブルの長さ	1.5m
動作温度	0℃～40℃（保存 20℃～60℃）

■ USB ハンドセット [NYC-USB-HS]仕様

項目名称		機能説明
製造メーカー		株式会社ナカヨ
名称・型番	機器名	USB ハンドセット
	型番	NYC-USB-HS
接続方式		USB
給電方式		USB 給電 DC5.0V 500mA (最大)
接続インターフェース		USB2.0
通話		ハンドセット通話/スピーカー受話
消費電力		約 1W
動作温度		0~40℃
動作湿度		20~85% (結露なきこと)
接続可能 OS		Windows 10 要ドライバインストール
本体寸法		本 体 : 約 48mm(W)×183mm(H) ×40mm(D) (カールコード含まず) 置き台 : 約 80(W)×86mm(H) ×80mm(D)
本体重量		本 体 : 約 195g (カールコード含む) 置き台 : 約 70g

MOT/Phone Windows版 操作・設定ガイド
2025年02月03日 第5.5版
株式会社バルテック